

2025 年度 環びわ湖大学・地域コンソーシアム 単位互換科目シラバス

滋賀大学

- 1. 日本と世界の文化 1
- 2. 経済学からの問い 3
- 3. 歴史からの問い 5

滋賀医科大学

- 4. 医療イノベーションの基礎 7

滋賀県立大学

- 5. おうみ学生未来塾（湖東） 9
- 6. SDGs と滋賀のグローバル・イノベーション
近江の暮らしとなりわい 10
- 7. 地域コミュニケーション論 11
- 8. びわこ環境行政論 12
- 9. 地域産業・企業から学ぶ社長講義 13

滋賀短期大学

- 10. 近江学入門 14
- 11. 数の不思議 15
- 12. 地域づくり論 16

滋賀文教短期大学

- 13. 地域の歴史と民俗文化 17

成安造形大学

- 14. 近江学 A(おうみ学生未来塾（湖西）) 19
- 15. 東洋・日本美術史概説 A 20
- 16. 東洋・日本美術史概説 B 21
- 17. 西洋美術史概説 A 22
- 18. 西洋美術史概説 B 23
- 19. デザイン史概説 A 24
- 20. デザイン史概説 B 25

聖泉大学

- 21. ペアレンティング論 26
- 22. 基礎看護論 27
- 23. 哲学 28
- 24. 成人看護論 29

長浜バイオ大学

- 25. 生物学基礎 30
- 26. 基礎微生物学 31
- 27. 遺伝子工学 32
- 28. 近江での SDGs の実践 33

びわこ学院大学

- 29. 子ども学総論 35
- 30. 滋賀の環境 36
- 31. スポーツ生理学 II 37
- 32. メンタルトレーニング論 38
- 33. レクリエーション論 39
- 34. 生活と福祉 40

びわこ成蹊スポーツ大学

- 35. 栄養と健康 41
- 36. スポーツ社会学概論 42
- 37. レジャー・レクリエーション論 43
- 38. スポーツバイオメカニクス概論 44

びわこリハビリテーション専門職大学

- 39. 神経科学総論 A 45
- 40. 神経科学総論 B 46

立命館大学

- 41. 薬学概論 47
- 42. 経済学特殊講義 II 49
(金融・証券分析基礎)
- 43. 近現代の科学技術 (G1) 51
- 44. 生命科学概論 53
- 45. スポーツマネジメント概論 55

龍谷大学

- 46. 植物生理・生化学 I 57
- 47. 食と嗜好の科学 59

科目番号	1	科目名	日本と世界の文化	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連 絡 先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担 当 教 員	江崎 麻里		(教 育 学 部 非 常 勤 講 師)	
実 施 方 法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教 室 名	中講義室	会場	大津キャンパス	
授 業 期 間	2025 年 8 月 25 日 (月) ~ 2025 年 8 月 28 日 (木) <毎週 曜日> 時限・講時 8 : 50 ~ 16 : 00			
超過時の選考方法	書類により選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		40	%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		60	%
	そ の 他 ()			%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項				
<p><講義概要・到達目標></p> <p>【授業の目的と概要】 「フランケンシュタイン」とは怪物の名前ではなく、それをつくった科学者の名前であることをご存じですか。</p> <p>この科目は、19歳のうら若きイギリス人女性が著した小説『フランケンシュタイン』を精読し、イギリスの文化を知る授業です。 大勢で集まって文学作品を読む意義は、ひとりで読んでいては気づくことのできないさまざまな「読み」(視点)を獲得することにあります。ふだん文学は読まないという人も、かの有名なモンスターがどのようにして生まれたのか、その経緯をたどりながら、異文化に親しんでみませんか。</p> <p>授業形態は「対面授業」です。 授業は、グループに分かれてディスカッションを行い、発表し、互いに評価しながら、作品を読み進めます。議論がどこに向かうのか、それは今夏集う受講生次第です。適宜、作品理解の助けとなる情報を、映像資料を軸にして紹介します。</p> <p>【授業の到達目標】 異国の文学を「読む」ことを楽しみ、その思いを明確に表現し、伝えられるようになること。また、他者の意見を理解して、さまざまな視点を獲得し、多角的な分析ができるようになること。</p> <p>【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】 その場ではじめて作品を読んでいては、意見を言うことができないので、事前に作品を読了しておくことが受講条件です。英語文学ですが、頁数も多く、英語を専門としていない受講生のことも考えて、教科書は日本語訳を指定しました。必ず、予習をして授業に臨みましょう。 目安として、各区分で三か所以上、おもしろいと思うところとその理由、共感するところとその理由、異国情緒を感じる場所、発見したこと、疑問点など、ノートに書き出して持ってきてください。 具体的に、初日に第一章(pp.23-66)を扱って「読み方」を実践します。詳細は、SUCCESS で連絡しますので、講義期間前と期間中は特に注意して SUCCESS を見るようにしてください。</p> <p>1時限あたり事前学習に3時間、事後学習に1時間</p>				

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	8月25日	1日目 1限 作品を「読む」とはどうか 授業の目標を確認しよう
2	8月25日	1日目 2限 「小説」とは何か
3	8月25日	1日目 3限 メアリ・シェリーの人生
4	8月25日	1日目 4限 さっそく第一章(pp. 23-66)を「読んで」みよう
5	8月26日	2日目 1限 第三章から第五章まで(pp. 78-117) ディスカッションと発表
6	8月26日	2日目 2限 身ごもる物語 当時の出産事情
7	8月26日	2日目 3限 第六章から第八章まで(pp. 117-166) ディスカッションと発表
8	8月26日	2日目 4限 人が人を裁く 死刑を執行する国
9	8月27日	3日目 1限 第十章から第十二章まで(pp. 177-209) ディスカッションと発表
10	8月27日	3日目 2限 崇高と美の起源
11	8月27日	3日目 3限 第十三章から第十五章まで(pp. 210-243)と第十七章(pp. 258-267) ディスカッションと発表
12	8月27日	3日目 4限 人は見た目が9割
13	8月28日	4日目 1限 第二十二章から第二十四章まで(pp. 327-371) ディスカッションと発表
14	8月28日	4日目 2限 フューズリ「夢魔」
15	8月28日	4日目 3限 結末を「読む」まとめの記述試験

<教科書・参考書>

【教科書】

ISBN 9784334752163
 書名 フランケンシュタイン
 著者名 シェリー 著,小林章夫 訳
 出版社 光文社
 出版年 2010

【参考書】

ISBN 9780199537167
 書名 Frankenstein
 著者名 Shelley
 出版社 Oxford University Press
 出版年 2008

【教材に対する補足情報】

教科書の小林章夫訳は読了と必携が受講条件です。
 参考書の原書は、興味がある方はぜひ、入手してください。原文が必要な箇所は随時、プリントを用意します。同じ出版社でも版が異なると、頁数・行数が異なりますので、購入の際は気をつけましょう。

科目番号	2	科目名	経済学からの問い	
英文科目名				
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連絡先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担当教員	室 徳圭 (経済 学部 特別招聘准教授)			
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教室名	初回授業時に窓口で案内	会場	彦根キャンパス	
授業期間	2025 年 4 月 8 日 (火) ~ 2025 年 7 月 22 日 (火) <毎週 火曜日> 時限・講時 10 : 30 ~ 12 : 00			
超過時の選考方法	書類により選考			
成績評価方法	定期試験 (筆記)	70		%
	レポート試験 (期末)			%
	平常点 (出席・授業態度)	10		%
	その他 (課題)	20		%
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	<p><講義概要・到達目標></p> <p>【授業の目的と概要】 社会生活を営む上で必要なお金あるいは金融商品について、その基礎的知識(金利、リスクとリターンの関係など)を習得し、それを使えるようになることを目的とします。このため、基本的には金融ユーザー(特に生活者)の側に目線を置き、初歩の経済学的・金融論的視点を加味しつつ授業を進めます。なお、お金に関連する金融機関や金融市場などについても可能な範囲で触れる予定です。それを学ぶことで、経済の中でも生活に密着した範囲について学ぶ予定です。</p> <p>【授業形態】対面授業(※毎回出席をとります。)</p> <p>※ 授業において様々な金融商品のうちいくつかについてその特徴を説明しますが、それは金融商品に関する基礎的知識を持ってもらう学習の一環として紹介するものであって、特定の金融商品を推奨するものではありません。</p> <p>【授業の到達目標】 大学生あるいは社会人として生活する上で必要なお金あるいは金融商品に関する基礎的知識を習得し、それを基に適切な判断・行動ができるようになること(いわゆる金融リテラシーの基礎の習得)を目標とします。経済学部のディプロマポリシーの「経済についての専門的な知識と思考力を習得している。」に関連付けられます。</p> <p>【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】 基本的には授業計画に記載した内容を、教科書を適宜併用しつつ進めていきますが、教科書に書かれているトピックの順番を適宜入れ替えて取り上げることがあります。なお、必要に応じて補助教材を使用します。講義の最後に次回のテーマについて言及しますので、しっかりと予習・復習をして講義に臨むことを望みます(3時間程度)。 簡単な課題(成績評価の対象)を出題する可能性があります。</p>			

<授業スケジュール>		
回	月日	テーマ・キーワード
1	4月8日	イントロダクション
2	4月15日	人生のデザインとお金
3	4月22日	お金の知恵(お金の特徴)
4	4月29日	お金の知恵(収入を把握する)
5	5月13日	お金の知恵(支出を把握する・お金の使い方)
6	5月20日	お金の知恵(お金を貯める・お金を運用する)
7	5月27日	お金の知恵(お金を運用する)
8	6月3日	お金の知恵(お金を運用する)
9	6月10日	お金の知恵(お金を運用する)
10	6月17日	お金の知恵(お金を運用する・お金を借りる)
11	6月24日	お金の知恵(お金を借りる)
12	7月1日	お金の知恵(損失に備える)
13	7月8日	不確実な人生に船出する
14	7月15日	不確実な人生に船出する(お金に関するトラブルを避ける)
15	7月22日	不確実な人生に船出する(お金に関するトラブルを避ける)、まとめ
<教科書・参考書>		
【教科書1】		
書名 大学生のための人生とお金の知恵 著者名 金融広報中央委員会 出版年 2017		
【教科書2】		
書名 基礎から学べる金融ガイド 著者名 金融庁 出版年 2016		
【参考書1】		
ISBN 9784847095894 書名 エコノミストの父が、子どもたちにこれだけは教えておきたい大切なお金の話 著者名 永濱利廣 出版社 ワニ・プラス 出版年 2017		
【参考書2】		
書名 金融経済教育研究会報告書 著者名 金融経済教育研究会 出版年 2013		
【教材に対する補足情報】 (教科書)		
『大学生のための人生とお金の知恵』は https://www.shiruporuto.jp/public/data/magazine/daigakusei/pdf/daigakusei.pdf から、また『基礎から学べる金融ガイド』は http://www.fsa.go.jp/teach/kou3.pdf から、それぞれダウンロードできます。		
(参考書)		
参考書1は、本分野について読みやすいということで挙げています。また、参考書2は、講義で取り扱う「金利」に関連するトピックについて分かりやすく書かれています。参考書3は、このテーマに関する教育が必要とされている背景について説明されています。なお、参考書3は http://www.fsa.go.jp/frtc/kenkyu/20130430/01.pdf からダウンロードできます。		

科目番号	3	科目名	歴史からの問い		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名	滋賀			大学	
連 絡 先	滋賀大学学務課総務係				
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122	
担 当 教 員	嘉藤 慎作			(経 済 学 部 准 教 授)	
実 施 方 法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教 室 名	初回授業時に窓口で案内	会場	彦根キャンパス		
授 業 期 間	2025 年 10 月 6 日 (月) ~ 2026 年 1 月 26 日 (月) <毎週 月曜日> 時限・講時 16 : 10 ~ 17 : 40				
超過時の選考方法	書類により選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			70	%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)				%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)				%
	そ の 他 (課 題)			30	%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円		
そ の 他 特 記 事 項					
<講義概要・到達目標>					
【授業の目的と概要】					
<p>本講義ではムスリム諸勢力が南アジア進出を開始した8世紀からイギリスによる本格的な植民地支配が始まる18世紀末までの南アジアの歴史について扱います。特にインドに成立したムスリム王朝に注目し、その歴史的展開を見ていきます。</p> <p>現代の南アジアには、インドを中心として10億人を超えるヒンドゥー教徒が暮らしている一方で、およそ5億人とも言われるムスリムも居住しています。近年南アジア地域は目覚ましい経済的な発展を遂げており、国際社会の中でも日々その存在感を増しています。そうした中で南アジア地域に関わるニュースを目にする機会も多くなりましたが、そこではインド・パキスタン関係の緊張やインド国内でますます深まるヒンドゥー教徒とムスリムとの間の対立関係などが頻繁に取り沙汰されています。今後も世界の中で重要性を増していくであろう南アジア地域情勢を理解することは大いに意義があることだと考えられますが、そのためにもイスラームの南アジアへの広まりおよびその在地社会に与えた影響を歴史的に学ぶことは不可欠になってきていると言えるでしょう。</p> <p>このような関心に基づいて、本講義では、主として南アジアにおけるムスリム諸勢力の進出やイスラームの拡大の歴史的展開を追い、それが現代南アジア社会を形成する上でどのような影響をもたらしているのかを考察します。その狙いは、南アジア地域世界の形成においてイスラームやペルシア語といった外部からもたらされた要素が大きく影響したことを理解して、現代南アジアの多様性の淵源についての理解を深めることにあります。</p>					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・南アジアにおけるイスラームの展開およびイスラームが社会に与えた影響について理解し、説明できるようになる。 ・南アジアの特徴の1つである社会・文化的多様性について理解を深める。 					
<p>以上はディプロマ・ポリシーにおける「(1)社会人としての幅広い知識と汎用的能力」のうち、「社会に関わる多様な学問に接し、広い知識と基礎的な考え方を習得している」、「多様な人と協働するためのコミュニケーション能力と規範を備えている」、「国際社会に貢献するためのグローバルな見識と異文化間コミュニケーション能力を習得している」に該当します。</p>					
【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】					
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、配布される講義資料に事前に目を通し、当該回の内容の流れを確認する(0.5時間)。 ・毎回、講義後に講義内容の復習をする(0.5時間)。 ・講義内で紹介された関連する文献のなかで関心のあるものに目を通す(3時間)。 					

<授業スケジュール>		
回	月日	テーマ・キーワード
1	10月6日	イントロダクション / 南アジアにおけるイスラーム
2	10月13日	ムスリム諸勢力の南アジア進出
3	10月20日	デリー・スルターン朝の時代
4	10月27日	デリー・スルターン朝時代の社会と経済
5	11月3日	デカンにおけるムスリム諸王国の展開
6	11月10日	ムガル朝の成立: バールとフマーユーン
7	11月17日	ムガル朝の発展: アクバル
8	11月24日	ムガル朝の拡大: ジャハーンギールとシャージャハーン
9	12月1日	ムガル朝の繁栄とその曲がり角: アウラングゼーブ
10	12月8日	ムガル朝時代の経済
11	12月15日	ムガル朝時代の社会と文化
12	12月22日	ムガル朝の衰退とマラーター同盟の興隆
13	1月5日	イギリスによる植民地支配のはじまり
14	1月19日	大反乱とムガル朝の終焉
15	1月26日	まとめ
<教科書・参考書>		
<p>【参考書1】 ISBN 9780141985398 書名 India in the Persianate Age : 1000-1765 著者名 Eaton, Richard Maxwell, Richard M. Eaton 出版社 Penguin 出版年 2020, c2019</p>		
<p>【参考書2】 ISBN 9784634462090 書名 南アジア史 著者名 小谷, 汪之, 1942-, 小谷汪之 編 出版社 山川出版社 出版年 2007.8</p>		
<p>【参考書3】 ISBN 9784634462113 書名 南アジア史 著者名 長崎, 暢子, 1937- 出版社 山川出版社 出版年 2019.3</p>		
<p>【教材に対する補足情報】 講義の各回で配布するスライド資料に基づいて進めます。より詳しく知りたいという方は、まず参考書に挙げている書籍を手にとることを勧めます。</p>		

科目番号	4	科目名	医療イノベーションの基礎	
英文科目名	Fundamentals for Medical Innovation			
大学・短期大学名	滋賀医科		大学	
連絡先	学務課学部教育支援係			
	TEL :	077-548-2068	FAX :	077-548-2799
担当教員	尾松 万里子 (医 学部 特別教授)			
実施方法	対面授業		遠隔授業 対面・遠隔併用	
教室名	第1講義室	会場		
授業期間	2025年4月9日(水)～2025年7月23日(水) <毎週水曜日> 3 時限・講時 13 : 00 ~ 14 : 30			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)	—		%
	レポート試験(期末)	60		%
	平常点(出席・授業態度)	—		%
	その他(発表)	40		%
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	最終の2回は出席を必須とし、出席回数が11回以上(出席率70%以上)の場合は、期末レポート課題の提出資格を認める。なお、最終成績は期末レポート課題の評価(60%)に発表(内容、発表資料の分かりやすさ、発表の仕方)の評価(40%)を加味して評価する。			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】				
この授業では、15回にわたって医療人としての専門教育だけでは学べない医療を支える外的な要因(産業界の考え方、コミュニケーションの取り方、製品開発の進め方、それらに関連する知的財産権や薬事規制など)を学習する。更に、自身の考えをまとめて他の人の伝える発表の仕方を学習し、実習する。				
この一連の学習は、文部科学省の「次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXTプログラム)」を発展させるものとして実施する。一般的な経済活動の仕組みや視点を理解し、医療分野に限らず新しい「コト」にチャレンジし、自らの志を実現できる医療人の育成を目的とする。				
1コマの授業の対して30分の予習と60分の復習を日常的に行い、休日などを利用して、さらに1コマあたり90分の復習が望まれます。				
【到達目標】				
医学の発展はめざましく、それに対応するように医薬品や医療機器の分野でのイノベーション(革新的な製品やサービス等)が創出されてきており、医療人の医療知識・技術と共に最先端の医療を支える両輪として働いている。この授業では、自らが医療人となった際に広い視野で物事が捉えられる視点や異分野の人とコミュニケーション力や発表能力を養うことを目標とする。具体的な授業の到達目標を以下に示す。				
1) 医療を取り巻く環境について調査することができる。				
2) イノベーション、オープンイノベーションとは何かを説明できる。				
3) バイオデザイン手法について説明できる。				
4) 異分野の人とコミュニケーションについて注意すべき点を説明できる。				
5) 産業界における製品開発の進め方を説明できる。				
6) 知的財産権についての基本事項について説明できる。				
7) 広告医学についての基本事項について説明できる。				
8) テーマに応じた適切な発表方法について注意すべき点を説明できる。				
9) 金融に関する基本事項について説明できる。				
10) 研究と開発の違いについて説明できる。				
11) 自分自身の(医療人としての)将来像を他者に理解できるように説明できる。				
12) 医療とAI(人工知能)等の関係性を説明できる。				

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	4月9日	オリエンテーション 金融教育講座
2	4月16日	異分野とのコミュニケーション①
3	4月23日	人間中心設計とプロトタイピング
4	5月7日	アントレプレナーシップ論
5	5月14日	医療現場の行動経済学
6	5月21日	異分野とのコミュニケーション②
7	5月28日	デザイン思考
8	6月4日	リーダーシップ論
9	6月11日	広告医学概論
10	6月18日	医工連携と産学連携
11	6月25日	ロボティクスを応用した医療ヘルスケア機器開発
12	7月2日	健康投資型の医療
13	7月9日	滋賀県での医療イノベーションの現状と将来への期待
14	7月16日	グループワーク(4～5人/グループ)
15	7月23日	プレゼンテーション
＜教科書・参考書＞		
<p>1. 医療イノベーションの本質－破壊的創造の処方箋(碩学舎ビジネス双書) 著:クレイトン・M・クリステンセン他、訳:山本雄士他 (原著)The Innovator's Prescription: A Disruptive Solution for Health Care, Clayton M. Christensen et al.</p> <p>2. BIODESIGN バイオデザイン日本語版(薬事日報社) 著:ステファノス・ゼニオス他、【監修】一般社団法人日本医療機器産業連合会他 (原著)Biodesign: The Process of Innovating Medical Technologies, Paul G. Yock et al.</p> <p>3. リーン・スタートアップ ムダのない起業プロセスでイノベーションを生みだす(日経BP社) 著:エリック・リース 訳:井口耕二 (原著)The Lean Startup: How Today's Entrepreneurs Use Continuous Innovation to Create Radically Successful Businesses, Rric Ries</p>		

科目番号	5	科目名	おうみ学生未来塾(湖東)		
英文科目名	Field Work for Community Design in Ohmi				
大学・短期大学名	滋賀県立			大学	
連絡先	滋賀県立大学教務課				
	TEL :	0749-28-8216		FAX :	0749-28-8472
担当教員	上田 洋平 (地域共生センター 特任講師)				
実施方法	対面授業				
教室名	教室未定	会場	滋賀県立大学、県内各フィールド		
授業期間	2025年9月8日(月)、9日～15日のうち1日、および9月16日(火) <毎週 曜日> 時限・講時 9 : 00 ~ 18 : 00				
超過時の選考方法	書類選考				
成績評価方法	定期試験(筆記)				%
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)				%
	その他(グループワーク成果等)	100			%
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項	※実習科目/フィールドトリップあり/欠席連絡必要				
<講義概要・到達目標>					
地域本来の力や資源を活かした地域づくり・地域再生を実現するための考え方と手法を実践的に学ぶ。具体的な地域再生の事例を参考に、フィールドワークやワークショップの企画、実施、地域再生策の提案までの過程に主体的に取り組む。こうした実践を通して、フィールドワークやワークショップの技法、ファシリテーションの手法、地域課題の把握から解決策の提案までのノウハウを修得する。① 夏季3日間の集中講義として行う。② 学生、院生混成によるチームを編成し、フィールドワークやワークショップに臨む。③ 地域から提起されたホットでリアルなフィールドや課題に挑む。④ 地域の方々と共に歩き、考え、具体的な企画・提案を作成する。※2025年度は夏季集中講義期間中の以下の日程で開講する。1日目:9月8日(月)、2日目:9月9日(火)～15日(月・祝)のうちのいずれか1日(どの日になるかはフィールドワーク先ごとに異なる。フィールド別の日程は後日別途提示する)、3日目:9月16日(火)					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	9月8日	地域コミュニティの現状と課題-フィールドワーク対象地の紹介と目標設定			
2	月8日	レクチャー及びWS 地域再生「7箇条」			
3	月8日	事例報告「フィールドワークから地域再生へ」			
4	月8日	レクチャー「地域課題事業化のポイントとその事例」			
5	月8日	フィールドワークの設計			
6	9月未定日	フィールドワーク/WS(地域をあるく・みる・きく)①			
7	月未定日	フィールドワーク/WS(地域をあるく・みる・きく)②			
8	月未定日	フィールドワーク/WS(地域をあるく・みる・きく)③			
9	月未定日	フィールドワーク/WS(地域をかたる・かんがえる)①			
10	月未定日	フィールドワーク/WS(地域をかたる・かんがえる)②			
11	9月16日	地域再生提案の作成①			
12	月16日	地域再生提案の作成②			
13	月16日	地域再生提案の作成③			
14	月16日	地域再生提案プレゼンテーションと講評			
15	月16日	特別レクチャー			
<教科書・参考書>					

科目番号	6	科目名	SDGsと滋賀のグローバル・イノベーション-近江の暮らしとなりわい-		
英 文 科 目 名	glocal-innovation for SDGs				
大学・短期大学名	滋賀県立			大学	
連 絡 先	滋賀県立大学教務課				
	TEL :	0749-28-8216	FAX :	0749-28-8472	
担 当 教 員	上田 洋平		(地域共生センター 特任講師)		
実 施 方 法	対面授業				
教 室 名	教室未定	会場	滋賀県立大学、ピアザ淡海(大津)		
授 業 期 間	2025 年 9 月 3 日 (水) ~ 2025 年 9 月 5 日 (金) <毎週 曜日> 時 限 ・ 講 時 : ~ :				
超 過 時 の 選 考 方 法	書類選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)				%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)				%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)				%
	そ の 他 (ワ ー ク ブ ッ ク , ワ ー ク シ ョ ッ プ 成 果 等)	100			%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円		
そ の 他 特 記 事 項	学外で授業を行う場合がある。詳細は別途指示。				
<講義概要・到達目標>					
滋賀県による事業とも連携し、最終日は大津の会場で開催する予定。					
当科目では、近江のくらしとなりわいの現場における様々ないとなみを事例として、持続可能な共生社会の実現に必要な知見を導き出すとともに、SDGsの考え方に照らして、ローカルな現場の実践・課題と、グローバルな実践・課題とがどのように関わっているのか、その関わりによって、どんな未来(グローバル・イノベーション)が実現できるのかについて、様々なゲストと共に議論する。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	9月3日	SDGsと地域社会			
2	9月3日	特別講義・SDGsと滋賀の挑戦:			
3	9月3日	くらしとなりわいの現場から—山・里・湖の現状と課題①			
4	9月3日	くらしとなりわいの現場から—山・里・湖の現状と課題②			
5	9月3日	くらしとなりわいの現場から—山・里・湖の現状と課題③			
6	9月4日	小さな地球を体験する—SDGsカードゲーム①			
7	9月4日	小さな地球を体験する—SDGsカードゲーム②			
8	9月4日	特別講義・グローバルイノベーション・企業の挑戦			
9	9月4日	くらしとなりわいの現場から—企業の挑戦①			
10	9月4日	くらしとなりわいの現場から—企業の挑戦②			
11	9月5日	くらしとなりわいの現場から—コミュニティの再生と創造①			
12	9月5日	くらしとなりわいの現場から—コミュニティの再生と創造②			
13	9月5日	ワークショップ 新しい暮らしとなりわいをつくる①			
14	9月5日	ワークショップ 新しい暮らしとなりわいをつくる②			
15	9月5日	ワークショップ 新しい暮らしとなりわいをつくる③			
<教科書・参考書>					

科目番号	7	科目名	地域コミュニケーション論		
英文科目名	Communication Theory in Local Areas				
大学・短期大学名	滋賀県立			大学	
連絡先	滋賀県立大学教務課				
	TEL :	0749-28-8216	FAX :	0749-28-8472	
担当教員	上田 洋平			(地域共生センター 特任講師)	
実施方法	対面授業				
教室名	教室未定	会場	滋賀県立大学ほか		
授業期間	2026年2月13日(金)～2026年2月15日(日) <毎週 曜日> 時限・講時 : ~ :				
超過時の選考方法	書類選考				
成績評価方法	定期試験(筆記)				%
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)				%
	その他(ワークブック、グループワーク成果等)	100			%
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項	※地域で活躍する社会人(地域人)との対話を通じて学ぶ				
<講義概要・到達目標>					
コミュニケーションとは何だろうか。「自分の意見が言える」こと?「人の話が聞ける」こと?それとも「空気を読める」ことだろうか?					
当講義では「comm?nic?re(分かち合う、共有する)」というこの語の由来に立ち返り、コミュニケーションとは何か、また地域社会でコミュニケーション能力が重要視される背景等について概観した上で、産官学さまざまな立場・現場で活躍する地域人との対話や共同作業を通じて、リアルな地域課題を地域に関わる皆で分かち合い、その解決策を立案するための基礎能力を身に付けること、「浴びるように他者と出会い、対話し、作業する」3日間の過程を通して「コミュニケーションの基礎体力」を養うことを目指す。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	2月13日	オリエンテーション・自分探求			
2	2月13日	レクチャー「コミュニケーションの概要と特性」			
3	2月13日	レクチャー&演習「グラレコ基礎・グラレコの技法」			
4	2月13日	学生×学生ワークショップ:「人生2合目からのながめ」			
5	2月13日	まとめ・レポート作成			
6	2月14日	学生×学生ダイアログ&相互紹介記事作成			
7	2月14日	特別講義:講師未定			
8	2月14日	学生×地域人ダイアログ			
9	2月14日	学生×地域人ダイアログ			
10	2月14日	まとめ・レポート作成			
11	2月15日	特別講義:講師未定			
12	2月15日	学生×地域人ダイアログ「明日も好い転機のための7箇条」			
13	2月15日	学生×地域人ダイアログ「明日も好い転機のための7箇条」			
14	2月15日	まとめ			
15	2月15日	レポート作成			
<教科書・参考書>					

科目番号	8	科目名	びわこ環境行政論	
英文科目名	Environmental Administration in Shiga			
大学・短期大学名	滋賀県立		大学	
連絡先	滋賀県立大学教務課			
	TEL :	0749-28-8216	FAX :	0749-28-8472
担当教員	堀 啓子 (環境科 学部 講師)			
実施方法	対面授業			
教室名	教室未定	会場		
授業期間	2025年9月29日(月)～2026年2月2日(月) <毎週月曜日> 4 時限・講時 14 : 50 ~ 16 : 20			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)		25	%
	平常点(出席・授業態度)			%
	その他(出席を前提とした毎回の小テスト)		75	%
別途負担費用	なし			
その他特記事項	ゲスト講師の都合により、講義の順序が入れ替わることがある。また講義のうち1回は出席なしのレポート課題を課す。			
<講義概要・到達目標>				
<p>地方自治体の政策は、開発と保全の両方から地域環境に大きな影響を及ぼす。滋賀県をフィールドに各分野の政策立案にかかわる行政担当者の講義を通じて、地域環境政策の課題を学び、琵琶湖という環境資産をもつ地域の持続可能な発展への政策とその実施について考える。</p> <p>(到達目標)</p> <p>(1)滋賀県の現行の各種環境政策を説明できる。 (2)滋賀県の環境政策の変遷を説明できる。 (3)持続可能な滋賀社会のビジョンについて自らの考えを述べるができる。 (4)持続可能な滋賀社会を実現する政策について自らの考えを述べるができる。</p>				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9月29日	環境問題の変遷と環境行政		
2	10月6日	今日の環境行政の課題		
3	10月13日	琵琶湖の総合保全の取り組み		*祝日授業日
4	10月20日	びわ湖の現状と課題(生態環境)		
5	11月10日	びわ湖の現状と課題(水質環境)		
6	11月17日	自然環境保全政策の現状と課題		
7	11月24日	環境共生をめざす農業政策		*祝日授業日
8	12月1日	環境共生をめざす森林政策		
9	12月8日	水環境保全政策の現状と課題		
10	12月15日	資源循環政策の現状と課題		
11	12月22日	循環型社会の産業政策		
12	1月5日	地球温暖化対策の現状と課題		
13	1月19日	低酸素社会実現のための政策		
14	1月26日	持続可能な滋賀社会のイメージ		
15	2月2日	持続可能な社会と環境政策		
<教科書・参考書>				

科目番号	9	科目名	地域産業・企業から学ぶ社長講義		
英文科目名	President Lecture to Learn Industry of Shiga and Carrier Design				
大学・短期大学名	滋賀県立			大学	
連絡先	滋賀県立大学教務課				
	TEL :	0749-28-8216	FAX :	0749-28-8472	
担当教員	安田 寿彦			(全学共通教育推進機構 特任教授)	
実施方法	対面授業				
教室名	教室未定	会場			
授業期間	2025年9月29日(月)～2026年2月2日(月) <毎週月曜日> 4 時限・講時 14 : 50 ~ 16 : 20				
超過時の選考方法	書類選考				
成績評価方法	定期試験(筆記)			0	%
	レポート試験(期末)			0	%
	平常点(出席・授業態度)			50	%
	その他(毎週の課題)			50	%
別途負担費用	なし				
その他特記事項	ゲスト講師の都合により、講義の順序や企業が入れ替わることがある。				
<講義概要・到達目標>					
<p>滋賀県の産業・経済の特徴を行政や金融からの視点で理解するとともに、地元の産業構造や地元産業界、地域企業の特色や抱える課題を学ぶ。さらに、滋賀県の代表企業等のトップに、企業の活動、およびこれから社会人になる学生に期待される能力などについて語っていただく。毎回、講義に関する課題レポートを提出する。講義に関する質疑を講義終了直後に行い、さらに、後日も質問を受け付け、回答を講義サイトに掲示する。</p> <p>到達目標:(1)滋賀県の経済・産業の特徴を理解できる。(2)情報の整理力と理解力(各講義内容を系統づけて理解できる。)(3)課題発見力(講義内容から重要な情報を整理し、自己のキャリアに繋げる課題を発見できる。)(4)コミュニケーション力(講義中の質疑応答、グループディスカッションでの質疑応答ができる。)</p>					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	9月29日	本講義の目的、概要について。キャリアデザインについて			
2	10月6日	行政から見た滋賀県の地域産業の課題とその解決策について			
3	10月13日	金融経済の視点から見た滋賀県の地域産業の課題とその解決策について			
4	10月20日	大津市から代表企業(企業の概要・特徴・学生へのメッセージ)			
5	11月10日	彦根市から代表企業(企業の概要・特徴・学生へのメッセージ)			
6	11月17日	甲賀市から代表企業(企業の概要・特徴・学生へのメッセージ)			
7	11月24日	湖南市から代表企業(企業の概要・特徴・学生へのメッセージ)			
8	12月1日	野洲市から代表企業(企業の概要・特徴・学生へのメッセージ)			
9	12月8日	栗東市から代表企業(企業の概要・特徴・学生へのメッセージ)			
10	12月15日	近江八幡市から代表企業(企業の概要・特徴・学生へのメッセージ)			
11	12月22日	米原市から代表企業(企業の概要・特徴・学生へのメッセージ)			
12	1月5日	野洲市から代表企業(企業の概要・特徴・学生へのメッセージ)			
13	1月19日	大津市から代表企業(企業の概要・特徴・学生へのメッセージ)			
14	1月26日	彦根市から代表企業(企業の概要・特徴・学生へのメッセージ)			
15	2月2日	近江商人に学ぶ			
<教科書・参考書>					
毎回、講義資料を配布します。					

科目番号	10	科目名	近江学入門	
英 文 科 目 名	Introduction to the Study of Oumi (The Old Name of Shiga)			
大学・短期大学名	滋賀短期		大学	
連 絡 先	滋賀短期大学 教務課			
	TEL :	077-524-3638	FAX :	077-523-5124
担 当 教 員	秋山 元秀		(学部 学長)	
実 施 方 法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教 室 名	未定	会場		
授 業 期 間	2025 年 4 月 10 日 (木) ~ 2025 年 7 月 17 日 (木)			
	<毎週 木曜日 > 1 時 限 講 時 9 : 00 ~ 10 : 30			
超過時の選考方法				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		20	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		40	%
	そ の 他 (小 テ ス ト)		40	%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項				
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】 近江は「道の国」「商人(あきんど)の町」「魚米の郷」という3つの面から、その特色を説明できる。すなわち古代に生まれた東海道、東山道(のちの中山道)、北陸道という全国レベルの幹線路が縦横に走り、その交通が国の基盤を作った。そしてこの交通を利用した商業活動が盛んになり、全国を舞台に近江出身の商人が活躍した。かれらは故郷の地域発展に貢献した。琵琶湖を中心にした広い平野をもつ近江は、豊かな農業生産によって米どころとなり、琵琶湖と周辺河川の水産業とあいまって、生活基盤となる農村をつくりあげた。授業では、この3つのテーマをいろいろなエピソードをとりあげて、近江の歴史や地理をあまり知らない人でもわかりやすいように話していく。				
【到達目標】 ・大学の所在する滋賀県について親しみをもち、滋賀県のことに関心をもつことができるようになる。 ・近江の歴史的特徴と、そこではぐくまれた多様な地域文化を知り、それが現在の滋賀県の基盤になっていることが理解できるようになる。 ・その上で、自分がよく知っている身近な地域が、滋賀県内でどのような位置を占めるか説明できるようになる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4 月 10 日	オウミ(近江・淡海)とはどんな意味?シガ(滋賀・志賀)とは?		
2	4 月 17 日	近江の歴史を知ろう。隣の京都や福井の歴史とも関連しているだろうか?		
3	4 月 24 日	道の国近江とは?近江を走る街道について知ろう		
4	5 月 1 日	東海道と中山道、その宿場、どんな町がある?		
5	5 月 8 日	その他にも多くの街道が縦横に走っている。どんな街道がある?		
6	5 月 15 日	近江商人とはどんな人たち?		
7	5 月 22 日	江州米というのはなぜ?近江の産業は?		
8	5 月 29 日	フナずしを食べたことありますか?そのほかに滋賀特有の食材や料理?		
9	6 月 5 日	近江の各地を訪問してみよう。まず大津。大津はどんな町?		
10	6 月 12 日	草津や守山など、湖南地域の町は?		
11	6 月 19 日	湖西の町、坂本・堅田などへ行ったことがありますか?高島は?		
12	6 月 26 日	国宝彦根城を見たことありますか?彦根は典型的な城下町、それはどこでわかる?		
13	7 月 3 日	湖北と長浜。長浜では何を見ればいいのか?		
14	7 月 10 日	甲賀。忍者の故郷?信楽焼はなぜたぬき?		
15	7 月 17 日	皆さんの滋賀でおすすめはどこ?		
<教科書・参考書>				
【教科書】なし 【参考書】授業中紹介する				

科目番号	11	科目名	数の不思議		
英文科目名	Wonder of Mathematics				
大学・短期大学名	滋賀短期		大学		
連絡先	滋賀短期大学 教務課				
	TEL :	077-524-3638	FAX :	077-523-5124	
担当教員	久米 央也 (幼児教育保育 学科 教授)				
実施方法	対面授業		遠隔授業		対面・遠隔併用
教室名	未定		会場		
授業期間	2025 年 10 月 2 日 (木) ~ 2026 年 1 月 22 日 (木) <毎週 木曜日 > 1 時 限 講時 9 : 00 ~ 10 : 30				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定期試験 (筆記)				%
	レポート試験 (期末)		20		%
	平常点 (出席・授業態度)		40		%
	その他 (小テスト)		40		%
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項					
<講義概要・到達目標>					
【授業の概要】 小学校教員の経験を持つ教員が担当する。 数・量・図形に関する古来からの各国の様々な問題やパズルを解説を加えながら一緒に考えグループで検討していく。その中で、数学の歴史や、数の持つ美しさ、不思議さを実感していく。					
【授業の到達目標】 ・数・量・図形に関する各国の古来からの問題やパズルを解く中で、数学の歴史を学び、数学的思考力を身につけることができる。 ・数・量・図形の美しさや不思議さに触れることで、数学に興味・関心を持って積極的に授業に参加できる。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	10 月 2 日	オリエンテーション 論理力(うそつき問題) 直観力(マッチ棒問題) 数の不思議(答えの予言の謎)			
2	10 月 9 日	論理力(川渡り問題) 数の不思議(電卓の謎・9999の謎) 数の誕生 数字の進化			
3	10 月 16 日	直観力(マッチ棒問題・コイン問題) ガウスの定理 123123の謎 0の発見(十進位取り記数法の誕生)			
4	10 月 23 日	17列目の謎を解く 数列の不思議(ピザを切ったら) フィボナッチ数列の不思議 素数の不思議			
5	10 月 30 日	142857の謎(巡回数) パンデigital 世界最古の魔方陣の不思議 いろいろな魔方陣			
6	11 月 6 日	かけ算ピラミッドの謎 立体図形の不思議 プラトン立体・サッカーボールの謎			
7	11 月 13 日	平面図形の不思議 消えた1cm ² タングラム			
8	11 月 20 日	12345679の謎 移動の不思議 究極のパズル(ハノイの塔) パラドックスの不思議 (アキレスと亀)			
9	11 月 27 日	カプレカ数 一筆書きの不思議 ケーニヒスベルクの橋 オイラーの定理			
10	12 月 4 日	数と比の不思議 黄金比・白銀比			
11	12 月 11 日	÷99の謎 17÷4の謎 小テスト			
12	12 月 18 日	測定の不思議(古代の測定) ピタゴラスの定理 エラトステネスの発見(地球を測定)			
13	1 月 8 日	塵劫記を解く 俵杉算・カラス算・盗人算・入れ子算			
14	1 月 15 日	塵劫記を解く 覆面算・盗人隠・小町算・円陣			
15	1 月 22 日	まとめ 数の不思議を振り返る、小テスト			
<教科書・参考書>					
【教科書】なし 【参考書】なし					

科目番号	12	科目名	地域づくり論		
英 文 科 目 名	Studies of Community Planning				
大学・短期大学名	滋賀短期			大学	
連 絡 先	滋賀短期大学 教務課				
	TEL :		077-524-3638	FAX : 077-523-5124	
担 当 教 員	江見 和明 (ビジネスコミュニケーション 学科 教授)				
実 施 方 法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教 室 名	未定	会場			
授 業 期 間	2025 年 9 月 26 日 (金) ~ 2026 年 1 月 16 日 (金) <毎週 金曜日 > 2 時限・講時 10 : 40 ~ 12 : 10				
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		50	%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		20	%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		30	%	
	そ の 他 (発 表)			%	
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円		
そ の 他 特 記 事 項					
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】 地域社会は、少子高齢化・人口減少の進展とともに、地域経済も低迷し、中心市街地、商店街の空洞化、山間部の過疎化等多くの課題を抱えている。この講義では、ケーススタディにより地域づくりを多面的な角度より考察し、地域づくりに参加し、企画提案できる資質を醸成する。滋賀県や大津市の職員の方に講演していただき、地域づくりの最前線について学んでもらう。アクティブラーニングとして、県や市の担当者の方との意見交換を行う。					
【到達目標】 ・私たちの学び舎のある大津市や滋賀県の歴史や文化、産業についての知識を身につけ、活用できる。 ・県内各地の地域づくり、さまざまな地域資源について知り、県内各地のまちづくりの活動事例を学ぶことを通して、自分たちの住む町の情報スペシャリストになることができる。 ・地域づくりについて企画提案できるようになる。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	9 月 26 日	オリエンテーション 地域とのつながりを考える			
2	10 月 3 日	地域とは何か 地域の未来ビジョンを考える			
3	10 月 10 日	地域と文化			
4	10 月 17 日	地域社会が抱える問題・課題			
5	10 月 24 日	滋賀県の地域政策 I			
6	10 月 31 日	滋賀県の地域政策 I 振り返り			
7	11 月 7 日	滋賀県の地域施策 II 観光政策			
8	11 月 14 日	滋賀県の地域施策 II 観光政策 振り返り			
9	11 月 21 日	大津市の地域づくり I 歴史と文化を活かしたまちづくり			
10	11 月 28 日	大津市の地域づくり I 振り返り			
11	12 月 5 日	世界農業遺産とまちづくり			
12	12 月 12 日	講演(世界農業遺産)の振り返り			
13	12 月 19 日	「ゆるい場」と地域づくり			
14	1 月 9 日	自分の地元の魅力を見直してみよう			
15	1 月 16 日	地域づくりプラン発表			
<教科書・参考書>					
【教科書】なし 【参考書】なし					

科目番号	13	科目名	地域の歴史と民俗文化	
英文科目名				
大学・短期大学名	滋賀文教短期		大学	
連絡先	滋賀文教短期大学 学務課 教務係			
	TEL :	0749-63-5815	FAX :	0749-65-1921
担当教員	中島 誠一		(国文学科 非常勤講師)	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	本館3階 305教室	会場	滋賀文教短期大学	
授業期間	2025年4月11日(金)～2025年7月25日(金) <毎週金曜日> 2 時限・講時 10 : 45 ~ 12 : 15			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験 ()		50	%
	小テスト ()		30	%
	平常点 (出席・授業態度)			%
	その他(プレゼンテーション)		20	%
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	<p><授業形態> 新型コロナウイルスの拡大状況により、対面授業が遠隔授業に切り替わる可能性があります。</p> <p><欠席連絡> 欠席連絡については、滋賀文教短期大学 学務課教務係(0749-63-5815)までご連絡ください。</p> <p><その他> ①前半授業の理解度を確保するため小テストを8回目の授業で実施する。答えは返却しないが、9回目の授業で試験の全体講評を行う。授業内容等で質問があれば授業終了後、もしくはメール(seiichi.nakajima@s-bunkyo.ac.jp)でも受け付ける。メールか書簡でも回答する。 ②全般的な理解を確保するため定期テストを16回目に実施する。答えは返却しないが質問があればメールで受け付け、メールもしくは書簡で返答する。</p>			
<p><講義概要・到達目標></p> <p>【講義概要】 初めに湖北地域のシビックプライドが歴史と民俗によって育まれていることを説明する。そして大学の立地する田村地域を中心に現地踏査をおこない、身近にある歴史的文化遺産を具体的に教える。次に学習の範囲を、湖北全域に拡大し、PPT・DVDによる視聴をまじえ、人々が継承してきた種々の生活文化を紹介する。そして羽柴秀吉による長浜城下町形成と今も人々のあいだに脈々と流れる進取の機運が生み出した数々の有形、無形の文化財について教える。湖北地域の豊かな歴史民俗文化遺産を多方面から体験し、学び、生涯の指針となるよう授業を進める</p> <p>【到達目標】 1.人々の暮らしの中に息づく祭りや、特徴ある習俗に目を向け、地域の個性について理解する力を身に付けることができる 2.湖北地域の歴史遺産が人々の生活に欠くことのできないものであることを、学習を通じて体得することによって自分の住む地域の様々な問題、課題について解決能力を身に付けることができる→期末テストによって自身の習得結果を確認することができる。</p>				

<授業スケジュール>		
回	月日	テーマ・キーワード
1	4月11日	湖北の歴史文化遺産PPTガイダンス。年間の学習内容説明。
2	4月18日	田村の歴史文化遺産―田村山登山&村の中を歩いて考える―(フィールドワーク)
3	4月25日	ユネスコ無形文化遺産―長浜曳山祭の行事内容について学ぶ―
4	5月9日	曳山文化の伝播―湖北を中心とした曳山祭の関連性について考える―
5	5月16日	湖北地域の雨ごい信仰の多様性―竜神信仰と太鼓踊りの関連を知る―
6	5月23日	近江で行われた雨ごい行事―竜神信仰と太鼓踊りの関連を学ぶ―
7	5月30日	湖北のオコナイ行事―なぜこの行事は根付いているのか考える―
8	6月6日	1～7回までの学習について振り返り、自分の進捗度を測る―小テスト―
9	6月13日	湖北の村の暮らし―長浜市西浅井町月出一過疎化と郷土愛
10	6月20日	湖北の村の暮らし―長浜市西浅井町菅浦―伝統と村の組織
11	6月27日	発展する明治の長浜―大商人たちの活躍―現在の長浜との関連
12	7月4日	長浜の食事―祭りと日常― 鯖素麺、講汁、鮎鮓
13	7月11日	長浜の諸職―鍛冶屋、鼻緒、竹細工、提灯
14	7月18日	長浜の諸職―長浜仏壇と曳山修理
15	7月25日	歴史と民俗文化について振り返る
<教科書・参考書>		
【教科書】 特にないが、授業の都度、新聞記事やSNSからの各種情報をテキストとして配布するので講義のNo.日付をつけて整理しておくことが大事。まとめれば湖北を知る事典として活用できるはずである。		
【参考書】 『川道のオコナイ 湖北に春を呼ぶ -俵鏡餅-』 中島誠一 サンライズ出版 2011 『近江の祭りを歩く』 中島誠一 サンライズ出版 2012 長浜城歴史博物館特別展図録『近江のオコナイ』『山車・屋台・曳山』『手仕事を伝える』『神になった秀吉』など		

科目番号	14	科目名	近江学A	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名	成安造形		大学	
連 絡 先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1			
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120
担 当 教 員	加藤賢治・仁連孝昭(特別講師) (芸術 学部 教授)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名	未定	会場		
授 業 期 間	2025 年 9 月 1 日 月 ~ 2025 年 9 月 4 日 (木) <毎週 曜日> 時限・講時 : ~ :			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)			%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		30	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		50	%
	そ の 他 (プ レ ゼ ン 評 価)		20	%
別 途 負 担 費 用	集合場所までの交通費(金額は各自で異なる)、入館料等(1000円程度)が必要			
その他特記事項	授業連絡等、Googleクラスルーム、Googleフォームを使用します 出席率の低いものは不可			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】				
成安造形大学が位置する近江(滋賀県)は中央に位置する琵琶湖とそれを囲むように連なる美しい山々という恵まれた自然環境を有するフィールドです。それだけでなく、古代から文化が形成されてきたために、多くの文化遺産を保有し、その伝統を今に伝えていきます。この科目は、本学近くにある大津市の中心市街地をフィールドワークしながら、地域の人々との交流の中で、地域文化を体感します。このように、伝統的な風習を残す地域を積極的に検証することで、21世紀に息づく普遍的な価値観を身につけ、自らの作品制作や未来の生活に活かすことを目的とします。※この科目は、一般社団法人環びわ湖大学・地域コンソーシアム「おうみ学生未来塾」の提供科目となっています。コンソーシアム加盟大学の学生が履修し、他大学の学生との交流も深まります。				
【この授業は、ハイブリッド(対面と遠隔の併用)で実施します。】				
【到達目標】				
1 先人の知恵をたどり、今に伝えられる大切な事象を捉えて今に活かすことができる				
2 どの地域においても活かすことのできる普遍的な価値観を身につけることができる				
3 グループワーク・ディスカッションを通じてまとめる力や発表する力を身につけることができる				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9 月 1 日	ガイダンス フィールドワークの概要と目的		
2	9 月 2 日	フィールドワーク「比叡山延暦寺①」東塔の見学		
3	9 月 2 日	フィールドワーク「比叡山延暦寺②」西塔の見学		
4	9 月 2 日	フィールドワーク「比叡山延暦寺③」行者道の見学		
5	9 月 2 日	フィールドワーク「比叡山延暦寺④」横川の見学		
6	9 月 3 日	フィールドワーク「門前町坂本①」公人屋敷の見学		
7	9 月 3 日	フィールドワーク「門前町坂本②」里坊 律院の見学		
8	9 月 3 日	フィールドワーク「門前町坂本③」日吉大社の見学		
9	9 月 3 日	フィールドワーク「門前町坂本④」滋賀院門跡と穴太衆積みの見学		
10	9 月 3 日	フィールドワークまとめのグループディスカッション(現地)		
11	9 月 4 日	グループディスカッション 歴史文化資源を活かした持続可能な地域活性化について(本学)		
12	9 月 4 日	グループディスカッション 歴史文化資源を活かした持続可能な地域活性化について(本学)		
13	9 月 4 日	成果発表会 フィールドワークを通して得たもの感じたものを発表する(本学)		
14	9 月 4 日	成果発表会 フィールドワークを通して得たもの感じたものを発表する(本学)		
<教科書・参考書>				
適宜プリントを配布				

科目番号	15	科目名	東洋・日本美術史概説A	
英文科目名				
大学・短期大学名	成安造形		大学	
連絡先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1			
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120
担当教員	小寺 善通		(芸術 学部 教授)	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	未定	会場		
授業期間	2025年4月15日(火)～2025年7月29日(火) <毎週 火曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)			%
	平常点(出席・授業態度)			%
	その他(各回ごとの授業内試験)	100		%
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始前にメール送付するガイダンス資料を熟読しておくこと。 ・授業でのスライドで満足せず、展覧会に出かけて実物を鑑賞すること。 ・参考図書や授業中に紹介した参考図書を用いて事前事後学習をすること。 			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】				
東洋・日本美術史の基礎知識を、分野別にスライドを用いて解説します。また、開催されている展覧会の情報や見どころも紹介します。様々な作品を知ることは、自分を知ることにつながります。今後の自らの作品制作の方向性を決める手がかりにしてほしいと考えています。				
【到達目標】				
1 各時代の日本美術の名品を通して、日本美術の流れを知ることができる				
2 制作の手がかりとなる作品に出会える				
3 様々な美術品を知ることで、美術品の見方を身につけることができる				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4月15日	日本美術史の枠組・仏像の基礎		
2	4月22日	日本彫刻史(飛鳥・白鳳・奈良)		
3	5月13日	日本彫刻史(平安)		
4	5月20日	日本彫刻史(鎌倉)		
5	5月27日	陶芸史(日本・中国)		
6	6月3日	日本絵画史(飛鳥・白鳳・奈良)		
7	6月10日	日本絵画史(平安)		
8	6月17日	日本絵画史(平安絵巻)		
9	6月24日	日本絵画史(鎌倉)		
10	7月1日	日本絵画史(水墨画)		
11	7月8日	日本絵画史(桃山)		
12	7月15日	日本絵画史(江戸前期)		
13	7月22日	日本絵画史(江戸後期)		
14	7月29日	日本絵画史(江戸後期・浮世絵)		
15	月 日			
<教科書・参考書>				
参考図書:『日本美術館』小学館				

科目番号	16	科目名	東洋・日本美術史概説B	
英文科目名				
大学・短期大学名	成安造形		大学	
連絡先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1			
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120
担当教員	小寄 善通		(芸術 学部 教授)	
実施方法	対面授業		遠隔授業 対面・遠隔併用	
教室名	未定	会場		
授業期間	2025 年 9 月 30 日 (火) ~ 2026 年 1 月 13 日 (火) <毎週 火曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験 (筆記)			%
	レポート試験 (期末)			%
	平常点 (出席・授業態度)			%
	その他 (各回ごとの授業内試験)		100	%
別途負担費用	なし		あり () 円	
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始前にメール送付するガイダンス資料を熟読しておくこと。 ・授業でのスライドで満足せず、展覧会に出かけて実物を鑑賞すること。 ・参考図書や授業中に紹介した参考図書を用いて事前事後学習をすること。 			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】				
美術・芸術という概念や制度が西洋からもたらされた明治時代以降、日本美術は急速かつ広範な変化、展開を遂げてゆきます。洋画に対する概念として日本画ということばが生まれたのも明治時代に入ってからです。この講義では、日本画、洋画、彫刻など日本美術の近代化の歩みをたどっていきます。				
【到達目標】				
1 明治時代以降、昭和時代初めまでの日本美術の流れが理解できる				
2 日本人が西洋から何を学んだかを知ることができる				
3 作家が作品制作に際して、何から影響を受けたかを知ることができる				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9 月 30 日	桃山・江戸時代前期の洋風画		
2	10 月 7 日	江戸時代後期の洋風画(江戸、長崎、秋田)		
3	10 月 14 日	幕末から明治初期の洋画		
4	10 月 21 日	美術教育の始まり(1)		
5	10 月 28 日	美術教育の始まり(2)		
6	11 月 4 日	明治時代の日本画(東京)		
7	11 月 11 日	明治時代の日本画(京都)		
8	11 月 18 日	明治時代の洋画		
9	11 月 25 日	近代の彫刻		
10	12 月 2 日	大正・昭和初期の日本画(東京)		
11	12 月 9 日	大正・昭和初期の日本画(京都)		
12	12 月 16 日	画家の作風展開を見る(上村松園・福田平八郎)		
13	1 月 6 日	大正時代の洋画		
14	1 月 13 日	昭和初期の洋画		
15	月 日			
<教科書・参考書>				
参考図書:『日本美術館』小学館、『日本美術の流れ6』高階 秀爾 岩波書店				

科目番号	17	科目名	西洋美術史概説A	
英文科目名				
大学・短期大学名	成安造形		大学	
連絡先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1			
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120
担当教員	中谷 至宏 (芸術学部教授)			
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教室名	未定	会場		
授業期間	2025年4月16日(水)～2025年7月23日(水) <毎週水曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)	80		%
	平常点(出席・授業態度)			%
	その他(授業内課題)	20		%
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	授業で提示するミュージアムのホームページ等で作品画像や内容を確認します。授業用資料と自宅学習課題の提示、学期末レポートの提出にはGoogle Classroomを使用します。			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】				
ギリシャ美術から19世紀初頭までの西洋美術史を主要作品を通して概観する。				
【到達目標】				
(1) 古代から19世紀初頭までの西洋美術史の流れを理解する。				
(2) 古代から19世紀初頭までの代表的な芸術家とその作品を知る。				
(3) 時代に固有な様式を理解する。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4月16日	イントロダクション+ギリシャ1		
2	4月23日	ギリシャ2		
3	5月7日	ローマ1		
4	5月14日	ローマ2		
5	5月21日	ビザンチン		
6	5月28日	ロマネスク		
7	6月4日	ゴシック1		
8	6月11日	ゴシック2		
9	6月18日	イタリア・ルネサンス1		
10	6月25日	イタリア・ルネサンス2		
11	7月2日	北方ルネサンス		
12	7月9日	バロック1 フランス/スペイン		
13	7月16日	バロック2 フランドル/オランダ		
14	7月23日	ロココ		
15	月 日			
<教科書・参考書>				
授業内で適宜提示				

科目番号	18	科目名	西洋美術史概説B		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名	成安造形			大学	
連 絡 先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1				
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120	
担 当 教 員	中谷 至宏			(芸術 学部 教授)	
実 施 方 法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教 室 名	未定	会場			
授 業 期 間	2025 年 10 月 1 日 (水) ~ 2026 年 1 月 14 日 (水) <毎週 水曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40				
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)				%
	レポ ー ト 試 験 (期 末)	80			%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)				%
	そ の 他 (授 業 内 課 題)	20			%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円		
そ の 他 特 記 事 項	授業で提示するミュージアムのホームページ等で作品画像や内容を確認します。授業用資料と自宅学習課題の提示、学期末レポートの提出にはGoogle Classroomを使用します。				
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】					
19世紀から20世紀前半までの西洋美術史を主要作品を通して概観する。					
【到達目標】					
(1)19世紀から20世紀前半までの西洋美術史の流れを理解する。					
(2)19世紀から20世紀前半までの代表的な芸術家とその作品を知る。					
(3)時代および作家に固有な様式を理解する。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	10月1日	イントロダクション+近代絵画とは			
2	10月8日	新古典主義			
3	10月15日	ロマン主義			
4	10月22日	レアリズム			
5	10月29日	印象派1			
6	11月5日	印象派2			
7	11月12日	新印象主義			
8	11月19日	ポスト印象主義			
9	11月26日	象徴主義・世紀末美術			
10	12月3日	フォービズム			
11	12月10日	表現主義			
12	12月17日	キュビズム+未来派			
13	1月7日	抽象絵画+構成主義			
14	1月14日	シュルレアリスム			
15	月 日				
<教科書・参考書>					
授業内で適宜提示					

科目番号	19	科目名	デザイン史概説A	
英文科目名				
大学・短期大学名	成安造形		大学	
連絡先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1			
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120
担当教員	平井直子・櫻間裕子 (芸術学部 非常勤講師)			
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教室名	未定	会場		
授業期間	2025年4月17日(木)～2025年7月24日(木) <毎週木曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)			%
	平常点(出席・授業態度)		30	%
	その他(授業内テスト)		70	%
別途負担費用	なし あり()円			
その他特記事項	18世紀から19世紀にかけてのヨーロッパの歴史について、概観しておくこと。 オリジナルのノートの作成を心掛けてください。			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】 18世紀から19世紀にかけての産業革命は、人びとの生活を激変させた。特に、生活に用いる、様々な道具やモノ、或いは環境を形成するものづくりの現場は、大きな影響を受けた。それ以前には職人の手で一つひとつが手工作で作られていたものが、機械によって一度に大量に生産されるようになったのである。この講義では、ものづくりの現場への機械の導入をめぐる、様々な工芸家やデザイナーの苦闘の跡を探っていく。そのことを通して、近代デザインの考え方の基礎の成立について知ることを目的とする。				
【到達目標】 (1)歴史という概念の相対性について考えることができる (2)デザインと社会の関係について考えることができる (3)機械によるモノ作りとしてのデザインについて考えることができる				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4月17日	歴史とはなにか、デザインとはなにか		
2	4月24日	デザイン史と美術史		
3	5月8日	産業革命とものづくり		
4	5月15日	イギリス社会の階層性		
5	5月22日	アルバート公とヘンリー・コールのデザイン改革		
6	5月29日	1851年の万国博覧会		
7	6月5日	ウィリアム・モリスの活動の概要		
8	6月12日	ウィリアム・モリスのデザイン思考の革新性 1回目		
9	6月19日	ウィリアム・モリスのデザイン思考の革新性 2回目		
10	6月26日	美術工芸運動		
11	7月3日	アール・ヌーヴォーの概要とデザイン史上の意味		
12	7月10日	フランスとベルギーのアール・ヌーヴォー		
13	7月17日	スコットランド、カタロニア、オーストリア、イタリアのアール・ヌーヴォー		
14	7月24日	授業内テスト		
15	月 日			
<教科書・参考書>				
授業の進行に応じて指示します。				

科目番号	20	科目名	デザイン史概説B	
英文科目名				
大学・短期大学名	成安造形		大学	
連絡先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1			
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120
担当教員	平井直子・櫻間裕子 (芸術学部 非常勤講師)			
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教室名	未定	会場		
授業期間	2025年10月2日(木)～2026年1月15日(木) <毎週木曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)			%
	平常点(出席・授業態度)		30	%
	その他(授業内テスト)		70	%
別途負担費用	なし あり()円			
その他特記事項	第1次世界大戦前後のヨーロッパの歴史について復習しておいてください。 オリジナルのノートの作成を心掛けてください。			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】 19世紀の末から20世紀の初頭にかけて、ものづくりの現場への機会の導入はさらに進んだが、先進的なデザイナーたちの様々な努力にもかかわらず、機械を使いこなすための確固たる方法論は未だ見出されていなかった。この授業では、アメリカの建築、ドイツ工作連盟、抽象絵画の成立、オランダのデ・スタイル、フランスやイタリアのデザイン、バウハウス、そして北欧のデザインを取り上げ、モダンデザインの成立について考えることを目的としている。				
【到達目標】 (1)デザインと社会の関係について考えることができる (2)近代から現代に至る文化の変遷や、社会とアートの関係性を理解し、今後の学びに活かす (3)モダン・デザインの成立について考えることができる				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	10月2日	ウィーン工房のデザイン		
2	10月9日	高層建築の起源		
3	10月16日	シカゴの建築		
4	10月23日	フランク・ロイド・ライトの建築		
5	10月30日	ドイツ工作連盟		
6	11月6日	絵画におけるリアリズムの意味、印象派へ		
7	11月13日	印象派と立体派、幾何学的抽象絵画の成立		
8	11月20日	デ・スタイル		
9	11月27日	20世紀前半のフランスデザイン		
10	12月4日	20世紀前半のイタリアデザイン		
11	12月11日	バウハウスの成立の背景		
12	12月18日	北欧デザイン		
13	1月8日	ヨーロッパにおけるモダンデザインの成立と意義		
14	1月15日	授業内テスト		
15	月 日			
<教科書・参考書>				
授業の進行に応じて指示します。				

科目番号	21	科目名	ペアレンティング論	
英文科目名				
大学・短期大学名	聖泉		大学	
連絡先	彦根市肥田町720			
	TEL :	0749-43-7510	FAX :	0749-43-5210
担当教員	平田 美紀 (看護 学部 教授)			
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教室名	352	会場	聖泉大学	
授業期間	2025年6月6日(金)～2025年7月25日(金) <毎週金曜日> 2 時限・講時 10 : 40 ~ 12 : 10			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)			%
	平常点(出席・授業態度)		10	%
	(第1～5回の課題:40%、 その他発表・レポート:50%)		90	%
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項				
<講義概要・到達目標>				
概要:妊娠・出産・育児の一連の過程から、時代の変遷と現代の子育ての社会的背景や課題について考えることを目標とする。授業は対面での講義、グループディスカッション、発表の形式で行う。 授業のねらい:子育ては、父親と母親が互いに支え合い協力し合って子育てするという意味を理解し、子育てにまつわる時代の変遷から現代の子育てについて考察する。また子育ては、生命の循環を通じた世代間の役割や、さらに親として成長するための支援方法の理解を深める。 授業の到達目標:①子育てにおけるペアレンティングに必要性が説明できる。②子どもの成長・発達に応じた子育て支援について考察できる。③世代間の生命の循環と現代の子育てについて考察できる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	6月6日	オリエンテーション(実施形態:対面):授業の概要・ねらい・到達目標を理解し、授業の進め方を理解して授業に備える。(授業外学習:第2回の準備[4時間])		
2	6月13日	妊娠・出産時のペアレンティング(実施形態:対面):妊娠期から出産期を通して父親、母親になる過程について学ぶ。(授業外学習:復習[2時間]、第3回の準備[2時間])		
3	6月20日	子どもの成長と子育て①(実施形態:対面):乳児期・幼児期の子どもの成長・発達に伴う子育ての現状について学ぶ。(授業外学習:復習[2時間]、第4回の準備[2時間])		
4	6月27日	子どもの成長と子育て②(実施形態:対面):学童期・思春期の子どもの成長・発達に伴う子育ての現状について学ぶ。(授業外学習:復習[2時間]、第5回の準備[2時間])		
5	7月4日	プレコンセプション・ケアと子育て(実施形態:対面):プレコンセプション・ケアの現状を学び、現代の子育ての課題を考える。(授業外学習:復習[2時間]、第6回の準備[2時間])		
6	7月11日	世代間循環と子育て(実施形態:対面):子ども、父母、祖父母の世代間循環につながる子育て、親になることについて考える。(授業外学習:復習[2時間]、第7回の準備[2時間])		
7	7月18日	現代の子育て①(実施形態:対面):時代背景、世代間循環、子どもの成長・発達を通して現代の子育てについて考える。(授業外学習:発表準備[2時間])		
8	7月25日	現代の子育て②(実施形態:対面):時代背景、世代間循環、子どもの成長・発達を通して現代の子育てについて考えたことを発表する。(授業外学習:復習[2時間])		
<教科書・参考書>				
看護のための人間発達学:舟島なをみ, 医学書院				

科目番号	22	科目名	基礎看護論	
英文科目名				
大学・短期大学名	聖泉		大学	
連絡先	滋賀県彦根市肥田町720			
	TEL :	0749-43-7510	FAX :	0749-43-5210
担当教員	西山 ゆかり (看護学部 教授)			
実施方法	対面授業		遠隔授業 対面・遠隔併用	
教室名		会場		
授業期間	2025年4月11日(金) ~ 2025年6月6日(金) <毎週金曜日> 2 時限・講時 10 : 40 ~ 12 : 10			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)	なし		%
	レポート試験(期末)	課題レポート:70%		%
	平常点(出席・授業態度)	10%		%
	その他(授業終了後の学びのレポート)	20%		%
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項				
<講義概要・到達目標>				
【概要】 看護とは、看護学とはを導入とし、看護の主要概念である人間・健康・環境・看護について学習し、看護の本質と看護の対象としての人間を理解します。また、看護実践に重要な要素である看護倫理、及び保健医療福祉における看護の機能と役割等、看護専門職としての基盤となる内容の理解を深めます。授業では、事前課題を基にグループワーク、発表等を通して主体的な学習方略を取り入れて行います。				
【到達目標】□ 1. 看護とは何か、看護の本質について理解し述べることができる。 2. 看護の機能と役割について自らの考えを述べることができる。 3. 看護専門職者の道を歩む看護学生として、キャリア形成について考えを述べるができる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4月11日	看護(学)への導入、看護の本質/看護の変遷、看護の概念の変遷		
2	4月18日	生活とは何か		
3	4月25日	看護の機能と役割		
4	5月2日	看護と法律		
5	5月9日	看護の日について考える 医療安全		
6	5月16日	医療安全		
7	5月23日	看護における倫理		
8	5月30日	看護専門職としての教育		
<教科書・参考書>				
1) 看護学概論-看護追及へのアプローチ第5版、田中幸子編、医歯薬出版、2022、9784263237588				
2) よくわかる看護職の倫理綱領第3版、峰村淳子、石塚睦子編著、照林社、2021、9784796525480				

科目番号	23	科目名	哲学
英文科目名			
大学・短期大学名	聖泉		大学
連絡先	滋賀県彦根市肥田町720		
	TEL :	0749-43-7510	FAX : 0749-43-5210
担当教員	山口 隆介 (人間 学部 講師)		
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用		
教室名	会場	聖泉大学	
授業期間	2025年9月26日(金)～2025年1月16日(金) <毎週金曜日> 時限・講時 16 : 20 ~ 17 : 50		
超過時の選考方法			
成績評価方法	定期試験(筆記)	0	%
	レポート試験(期末)	60	%
	平常点(出席・授業態度)	40	%
	その他()	0	%
別途負担費用	なし あり()円		
その他特記事項	授業外学習は60時間以上。フィードバックは授業内課題へのコメント等で実施。		
<講義概要・到達目標>			
<p>概要:授業は、各回のテーマを設定し、それに基づいて哲学的思索を促す講義を行ない授業内課題を課す。 授業のねらい:本当に価値あるものとは、何か他のものために役立つから価値があるのではなく、それ自体として価値がある。このような根源的価値に気付く素地を作るのが本授業のねらいである。 授業の到達目標:①当たり前のことにも理由が必要であることに気づく。②不完全であっても合理的な理由を考える。③自分とは異なる意見についても、その理由を理解し、説明することができるようになる。④自分がどのような前提に立って生きているかを徹底的に自覚する。⑤他者の生きる前提を認めつつ、自分の生きる前提について説得力ある仕方語る。</p>			
<授業スケジュール>			
回	月日	テーマ・キーワード	
1	9月26日	オリエンテーション(実施形態:対面)授業の進め方、受け方を指示する。授業の概要、授業のねらい、授業の到達目標を理解し、授業の進め方を理解して、この後の授業に備える。(授業外学習:次回の予習[4時間])	
2	10月3日	心とは何か(実施形態:対面)心とはどういう存在かについて思索する。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])	
3	10月10日	現象とは何か(実施形態:対面)ものが見えるということはどういうことを考える。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])	
4	10月17日	時間とは何か(実施形態:対面)時間と空間があるというのはどういう意味かを問う。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])	
5	10月24日	存在とは何か(実施形態:対面)存在を分類し人間が特殊な存在であることに気づく。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])	
6	10月31日	命とは何か(実施形態:対面)生きているということの特殊性を体験する。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])	
7	11月14日	善き生とは何か(実施形態:オンデマンド)善い悪いを言うためにはどういった前提が必要かを問う。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])	
8	11月21日	善とは何か(実施形態:対面)善とは存在なのか、形式なのかについて考える。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])	
9	11月28日	神はいるのか(実施形態:対面)神がいるのならどのような存在でなければならないかを問う。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])	
10	12月5日	神の前で人間とは何なのか(実施形態:対面)神なき倫理はあり得るかを問う。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])	
11	12月12日	人は何ものであるのか(実施形態:対面)人間は心か、体か、モノか、機械かを考える。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])	
12	12月19日	言葉とは何か(実施形態:対面)言葉によって何を、何を失うかに気づく。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])	
13	12月26日	私はどう考えるのか(実施形態:対面)考えるとは発見することか、発明することかを問う。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])	
14	1月6日	ゴールはあるのか(実施形態:対面)すべてに意味はあるのか、実態はあるのかを問う。(授業外学習:復習[2時間]、次回の予習[2時間])	
15	1月16日	自分で哲学する(実施形態:対面)自分の人生の前提について思索する。(授業外学習:復習[2時間]、最終レポート[2時間以上])	
<教科書・参考書>			
適宜紹介。			

科目番号	24	科目名	成人看護論		
英 文 科 目 名	Adult Nursing				
大学・短期大学名	聖泉			大学	
連 絡 先	滋賀県彦根市肥田町720				
	TEL :	0749-43-7510	FAX :	0749-43-5210	
担 当 教 員	古川 智恵 (看護 学部 教授)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名			会場		
授 業 期 間	2025 年 10 月 2 日 木 ~ 2026 年 1 月 15 日 (木) <毎週 木曜日> 時限・講時 13 : 00 ~ 14 : 30				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定期試験 (筆記)				70 %
	レポート試験 (期末)				30 %
	平常点 (出席・授業態度)				0 %
	その他 ()				0 %
別途負担費用	なし あり()円				
その他特記事項	各回、事前・事後課題を課す。授業外学習時間は事前と事後を合わせて60時間以上とする。課題の評価は、個別または全体にフィードバックを行う。				
<講義概要・到達目標>					
ライフサイクルにおける成人期の特徴について、身体的・心理的・社会的側面から解説し、成人の生活を支援するための保健・医療・福祉システムについて教授する。また、健康障害を潜在的・顕在的に有する成人とその家族への看護を考えるための看護理論・概念を整理し、急性期、回復期(リハビリテーション看護)、慢性期および人生の最終段階にある人の療養の場とその移行を支える援助について考察する。					
<到達目標>					
1. 成人の定義および成人をとりまく状況とライフスタイルの多様性について説明できる。					
2. 成人の発達段階や発達課題、身体・心理・社会的特徴について説明できる。					
3. 成人の健康障害について説明できる。					
4. 成人の看護に必要な基本的アプローチについて説明できる。					
5. 成人の生活と健康を守り育む保健・医療・福祉システムについて説明できる。					
6. あらゆる健康障害レベルにある成人について看護理論・概念を用いて考察できる。					
7. 急性期、回復期(リハビリテーション看護)、慢性期および人生の最終段階にある人への看護援助方法について考察できる。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	10月2日	成人をとりまく今日の状況			
2	10月9日	成人期にある人の健康 ①健康とは、成人にとっての病気の体験とは			
3	10月16日	成人期にある人の健康 ②成人保健と今日の健康動向、保健・医療・福祉政策と今日の健康課題			
4	10月23日	成人期にある人の健康 ③生活習慣と健康			
5	10月30日	成人期にある人の健康 ④職業・労働と健康			
6	11月6日	成人期にある人の健康 ⑤生活ストレスと健康、性・更年期と健康			
7	11月13日	成人期にある人の健康 ⑥災害と健康			
8	11月20日	成人期にある人を看護するための基本的な考え方			
9	11月27日	健康状態に応じた看護①ヘルスプロモーション、ヘルスプロテクション			
10	12月4日	健康状態に応じた看護②健康状態が急激に変化し急性の状態にある人への看護			
11	12月11日	健康状態に応じた看護③生活機能障害のある人への看護(リハビリテーション看護)			
12	12月18日	健康状態に応じた看護④慢性的な経過をたどる健康障害を有する人への看護			
13	12月25日	健康状態に応じた看護⑤人生の最終段階にある人への看護			
14	1月8日	成人看護を充実させる実践的環境①看護職の倫理綱領と成人看護、専門職間の連携と協働			
15	1月15日	成人看護を充実させる実践的環境②医療安全、質の高い看護実践のための人材育成			
<教科書・参考書>					
南江堂 成人看護学概論(改定第4版)					
南江堂 成人看護学 成人看護技術[Web動画付](改訂第3版)					

科目番号	25	科目名	生物学基礎																																																		
英文科目名																																																					
大学・短期大学名	長浜バイオ			大学																																																	
連絡先	滋賀県長浜市田村町1266番地																																																				
	TEL :	0749-64-8100	FAX :	0749-64-8140																																																	
担当教員	岩本 昌子 (バイオサイエンス 学部)																																																				
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用																																																				
教室名	大講義室①	会場	長浜バイオ大学																																																		
授業期間	2025年4月9日(水)～2024年7月16日(水) <毎週水曜日> 2 時限・講時 11 : 10 ~ 12 : 40																																																				
超過時の選考方法																																																					
成績評価方法	定期試験(筆記)	0	%																																																		
	レポート試験(期末)	25	%																																																		
	平常点(出席・授業態度)	0	%																																																		
	その他(小テスト)	75	%																																																		
別途負担費用	なし あり()円																																																				
その他特記事項																																																					
<p><講義概要・到達目標></p> <p>高校で「生物学」を十分に履修してこなかった学生に向けた内容である。重要かつ基本的な専門用語を理解し、大学での高度な学びにつなげる。バイオサイエンスに関する幅広い内容にふれて、大学での学習意欲を高める。</p>																																																					
<p><授業スケジュール></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4月9日</td><td>第1回 生物とは何だろうか</td></tr> <tr><td>2</td><td>4月16日</td><td>第2回 細胞の構造</td></tr> <tr><td>3</td><td>4月23日</td><td>第3回 生物を構成する化学成分</td></tr> <tr><td>4</td><td>4月30日</td><td>第4回 遺伝子の発現(1.転写)</td></tr> <tr><td>5</td><td>5月7日</td><td>第5回 遺伝子の発現(2.翻訳)</td></tr> <tr><td>6</td><td>5月14日</td><td>第6回 DNAの複製</td></tr> <tr><td>7</td><td>5月21日</td><td>第7回 酵素と代謝</td></tr> <tr><td>8</td><td>5月28日</td><td>第8回 植物の光合成</td></tr> <tr><td>9</td><td>6月4日</td><td>第9回 細胞周期と細胞分化</td></tr> <tr><td>10</td><td>6月11日</td><td>第10回 生殖(配偶子形成と受精)</td></tr> <tr><td>11</td><td>6月18日</td><td>第11回 動物の発生</td></tr> <tr><td>12</td><td>6月25日</td><td>第12回 多細胞生物の自己維持</td></tr> <tr><td>13</td><td>7月2日</td><td>第13回 免疫のしくみ</td></tr> <tr><td>14</td><td>7月9日</td><td>第14回 遺伝のしくみと遺伝病</td></tr> <tr><td>15</td><td>7月16日</td><td>第15回 生物多様性と生命の起源</td></tr> </tbody> </table>						回	月日	テーマ・キーワード	1	4月9日	第1回 生物とは何だろうか	2	4月16日	第2回 細胞の構造	3	4月23日	第3回 生物を構成する化学成分	4	4月30日	第4回 遺伝子の発現(1.転写)	5	5月7日	第5回 遺伝子の発現(2.翻訳)	6	5月14日	第6回 DNAの複製	7	5月21日	第7回 酵素と代謝	8	5月28日	第8回 植物の光合成	9	6月4日	第9回 細胞周期と細胞分化	10	6月11日	第10回 生殖(配偶子形成と受精)	11	6月18日	第11回 動物の発生	12	6月25日	第12回 多細胞生物の自己維持	13	7月2日	第13回 免疫のしくみ	14	7月9日	第14回 遺伝のしくみと遺伝病	15	7月16日	第15回 生物多様性と生命の起源
回	月日	テーマ・キーワード																																																			
1	4月9日	第1回 生物とは何だろうか																																																			
2	4月16日	第2回 細胞の構造																																																			
3	4月23日	第3回 生物を構成する化学成分																																																			
4	4月30日	第4回 遺伝子の発現(1.転写)																																																			
5	5月7日	第5回 遺伝子の発現(2.翻訳)																																																			
6	5月14日	第6回 DNAの複製																																																			
7	5月21日	第7回 酵素と代謝																																																			
8	5月28日	第8回 植物の光合成																																																			
9	6月4日	第9回 細胞周期と細胞分化																																																			
10	6月11日	第10回 生殖(配偶子形成と受精)																																																			
11	6月18日	第11回 動物の発生																																																			
12	6月25日	第12回 多細胞生物の自己維持																																																			
13	7月2日	第13回 免疫のしくみ																																																			
14	7月9日	第14回 遺伝のしくみと遺伝病																																																			
15	7月16日	第15回 生物多様性と生命の起源																																																			
<p><教科書・参考書></p> <p>南雲保 編「やさしい基礎生物学」 羊土社</p>																																																					

科目番号	26	科目名	基礎微生物学																																																		
英文科目名																																																					
大学・短期大学名	長浜バイオ			大学																																																	
連絡先	滋賀県長浜市田村町1266番地																																																				
	TEL :	0749-64-8100	FAX :	0749-64-8140																																																	
担当教員	石川 聖人 (バイオサイエンス 学部)																																																				
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用																																																				
教室名	中講義室⑤	会場	長浜バイオ大学																																																		
授業期間	2025年4月8日(火)～2025年7月29日(火) <毎週 火曜日> 1 時限・講時 9 : 30 ~ 11 : 00																																																				
超過時の選考方法																																																					
成績評価方法	定期試験(筆記)	0		%																																																	
	レポート試験(期末)	100		%																																																	
	平常点(出席・授業態度)	0		%																																																	
	その他()	0		%																																																	
別途負担費用	なし			あり()円																																																	
その他特記事項																																																					
<p><講義概要・到達目標></p> <p>本講義では、肉眼で見ることのできない微小生物発見の歴史から、微生物の分類法、純粋分離法、培養法、染色法と各種顕微鏡による観察、微生物の栄養学的性質と増殖、構造と機能の違い、環境因子の増殖への影響といった微生物研究のための基本技術を概説し、自立増殖できる生命の中で最も基本となる微生物について理解を深める。更に微生物における物質生産、環境浄化そして自然界での物質循環における役割なども概説する。</p>																																																					
<p><授業スケジュール></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4月8日</td><td>第1回 微生物学の概念と歴史</td></tr> <tr><td>2</td><td>4月22日</td><td>第2回 微生物の取り扱い方</td></tr> <tr><td>3</td><td>5月13日</td><td>第3回 エネルギーの獲得方法</td></tr> <tr><td>4</td><td>5月20日</td><td>第4回 微生物の生育と条件</td></tr> <tr><td>5</td><td>5月27日</td><td>第5回 微生物の分類Ⅰ:微生物進化学と分類学</td></tr> <tr><td>6</td><td>6月3日</td><td>第6回 微生物の分類Ⅱ:古細菌・真核微生物</td></tr> <tr><td>7</td><td>6月10日</td><td>第7回 微生物と抗生物質</td></tr> <tr><td>8</td><td>6月17日</td><td>第8回 ウイルス</td></tr> <tr><td>9</td><td>6月24日</td><td>第9回 遺伝子操作における微生物の利用</td></tr> <tr><td>10</td><td>7月1日</td><td>第10回 アルコール発酵</td></tr> <tr><td>11</td><td>7月8日</td><td>第11回 アミノ酸の生産</td></tr> <tr><td>12</td><td>7月15日</td><td>第12回 食物保存と微生物汚染</td></tr> <tr><td>13</td><td>7月22日</td><td>第13回 極限環境微生物</td></tr> <tr><td>14</td><td>7月23日</td><td>第14回 微生物による元素循環</td></tr> <tr><td>15</td><td>7月29日</td><td>第15回 微生物による排水処理</td></tr> </tbody> </table>						回	月日	テーマ・キーワード	1	4月8日	第1回 微生物学の概念と歴史	2	4月22日	第2回 微生物の取り扱い方	3	5月13日	第3回 エネルギーの獲得方法	4	5月20日	第4回 微生物の生育と条件	5	5月27日	第5回 微生物の分類Ⅰ:微生物進化学と分類学	6	6月3日	第6回 微生物の分類Ⅱ:古細菌・真核微生物	7	6月10日	第7回 微生物と抗生物質	8	6月17日	第8回 ウイルス	9	6月24日	第9回 遺伝子操作における微生物の利用	10	7月1日	第10回 アルコール発酵	11	7月8日	第11回 アミノ酸の生産	12	7月15日	第12回 食物保存と微生物汚染	13	7月22日	第13回 極限環境微生物	14	7月23日	第14回 微生物による元素循環	15	7月29日	第15回 微生物による排水処理
回	月日	テーマ・キーワード																																																			
1	4月8日	第1回 微生物学の概念と歴史																																																			
2	4月22日	第2回 微生物の取り扱い方																																																			
3	5月13日	第3回 エネルギーの獲得方法																																																			
4	5月20日	第4回 微生物の生育と条件																																																			
5	5月27日	第5回 微生物の分類Ⅰ:微生物進化学と分類学																																																			
6	6月3日	第6回 微生物の分類Ⅱ:古細菌・真核微生物																																																			
7	6月10日	第7回 微生物と抗生物質																																																			
8	6月17日	第8回 ウイルス																																																			
9	6月24日	第9回 遺伝子操作における微生物の利用																																																			
10	7月1日	第10回 アルコール発酵																																																			
11	7月8日	第11回 アミノ酸の生産																																																			
12	7月15日	第12回 食物保存と微生物汚染																																																			
13	7月22日	第13回 極限環境微生物																																																			
14	7月23日	第14回 微生物による元素循環																																																			
15	7月29日	第15回 微生物による排水処理																																																			
<p><教科書・参考書></p> <p>「ベーシックマスター 微生物学」堀越弘毅監修 井上明編 オーム社</p>																																																					

科目番号	27	科目名	遺伝子工学		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名	長浜バイオ				大学
連 絡 先	滋賀県長浜市田村町1266番地				
	TEL :	0749-64-8100	FAX :	0749-64-8140	
担 当 教 員	石川 聖人 (バイオサイエンス 学部)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	大講義室②		会場	長浜バイオ大学	
授 業 期 間	2025 年 9 月 26 日 (金) ~ 2026 年 1 月 16 日 (金) <毎週 金曜日> 1 時限・講時 9 : 30 ~ 11 : 00				
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		0	%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		100	%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		0	%	
	そ の 他 (成績が合格点に達しない場合には追加レポートを課すこともある。)		0	%	
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円		
そ の 他 特 記 事 項					
<講義概要・到達目標>					
DNAを組換えて新しい塩基配列を有するDNAをつくる遺伝子工学は、バイオテクノロジーの中心技術である。現在では生命現象の解明・医薬品の製造・病気の診断・品種改良なども遺伝子工学なしでは成り立たなくなっている。本講義では、遺伝子工学の発展のきっかけとなった酵素の発見・技術の発明から、最先端のゲノム編集・次世代シーケンシングの技術についても解説する。本講義を通じて、遺伝子工学実験の基本原則を教育し、私達の身近に応用されているバイオテクノロジーに対しての正しい理解を与える。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	9月26日	第1回 遺伝子工学の概要			
2	10月4日	第2回 細菌の自己防衛手段1:制限修飾系			
3	10月10日	第3回 制限酵素の利用と応用			
4	10月17日	第4回 細菌の自己防衛手段2:CRISPR-Casシステム			
5	10月24日	第5回 ゲノム編集技術			
6	10月31日	第6回 核酸の構造的特徴と合成			
7	11月7日	第7回 PCR法			
8	11月14日	第8回 遺伝子の運び手:プラスミド・ファージ・トランスポゾン			
9	11月21日	第9回 宿主生物へのDNA導入			
10	11月28日	第10回 核酸の電気泳動とプロットング			
11	12月5日	第11回 塩基配列の決定方法			
12	12月12日	第12回 塩基配列決定の先端技術			
13	12月26日	第13回 遺伝子のライブラリー作成と選択			
14	1月9日	第14回 遺伝子発現解析			
15	1月16日	第15回 遺伝子産物の機能解析			
<教科書・参考書>					
基礎から学ぶ遺伝子工学(第3版) 田村隆明 著 羊土社					

科目番号	28	科目名	近江でのSDGsの実践	
英文科目名				
大学・短期大学名	長浜バイオ		大学	
連絡先	滋賀県長浜市田村町1266番地			
	TEL :	0749-64-8100	FAX :	0749-64-8140
担当教員	蔡 晃植・坂井 伸彰 (バイオサイエンス 学部)			
実施方法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用
教室名	-	会場	-	
授業期間	2025年10月未定日() ~ 2025年12月未定日() <毎週 曜日> 時限・講時 : ~ :			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)	0	%	
	レポート試験(期末)	0	%	
	平常点(出席・授業態度)	0	%	
	その他(各回ごとに小テスト、レポート、発表などで評価する。)	100	%	
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	※フィールドトリップあり			
<p><講義概要・到達目標> 2025年10月以降に開催予定(4回) (90分×3時限分) ※詳細は後日決定</p> <p>持続可能な開発目標であるSDGs(Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の「国連持続可能な開発サミット」で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた17の目標から構成される人間、地球および繁栄のための行動計画である。滋賀県は全国に先駆けて、2017年1月にSDGsを県政に取り込むことを宣言した。本科目ではまず、SDGsとは何か学び、SDGsで掲げるの17の目標とその目標達成への実践例なども学ぶことでSDGsへの理解を深める。また、SDGsでの目標を近江の地で実践していくためにはどのような行動計画を立ててどのように実践していけば良いのかを、グループワークを通してそれぞれが考え、それを皆で共有することで、将来の持続可能な社会の構想実現に寄与するための足がかりを得る。</p>				
<p><授業スケジュール></p>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	月 日	第1回 SDGsとは何か 第一時限 SDGsとは何か(経済・社会・環境の調和、5つのP、17の目標と169のターゲットの相関、指標)(講義)		
2		第1回 第二時限 滋賀県におけるSDGsへの取り組み、SDGsでの17の目標を達成するための様々な実践例(講義、演習)		
3		第1回 第三時限 SDGsの実践(フィールドワーク)		
4		第1回 第四時限 SDGsの実践(フィールドワーク)		
5		第1回 第五時限 SDGsの実践(グループワーク)		

6	月 日	第2回 ①SDGsとは何か SDGsの5つのP(People:人間) 目標1,2,3,4,5,6の達成に向けて 第一時限 SDGsの目標1,2,3,4,5,6とは何か、取り組み例(講義)
7		第2回 第二時限 SDGsの目標1,2,3,4,5,6に対する意見、滋賀で目標1,2,3,4,5,6を達成することに寄与する取り組み(グループワーク等)
8		第2回 ②SDGsとは何か SDGsの5つのP(Prosperity:豊かさ) 目標7,8,9,10,11の達成に向けて 第三時限 SDGsの目標7,8,9,10,11とは何か、取り組み例(講義)
9		第2回 第四時限 SDGsの目標7,8,9,10,11に対する意見、滋賀で目標7,8,9,10,11を達成することに寄与する取り組み(グループワーク等)
10	月 日	第3回 ①SDGsとは何か SDGsの5つのP(Planet:地球) 目標12,13,14,15の達成に向けて 第一時限 SDGsの目標12,13,14,15とは何か、取り組み例(講義)
11		第3回 第二時限 SDGsの目標12,13,14,15に対する意見、滋賀で目標12,13,14,15を達成することに寄与する取り組み(グループワーク等)
12		第3回 ②SDGsとは何か SDGsの5つのP(Peace:平和)と(Partnership) 目標16,17の達成に向けて 第三時限 SDGsの目標16,17とは何か、取り組み例(講義)
13		第3回 第四時限 SDGsの目標16,17に対する意見、滋賀で目標16,17を達成することに寄与する取り組み(グループワーク等)
14	月 日	第4回 SDGsの概念を体験する 第一時限 SDGsにおける経済・社会・環境の調和を体験する①(SDGsカードを利用したグループワーク等)
15		第4回 第二時限 SDGsにおける経済・社会・環境の調和を体験する②(SDGsカードを利用したグループワーク等)
<教科書・参考書>		
必要に応じて資料を配付する。		

科目番号	29	科目名	子ども学総論	
英文科目名	General Remarks of Child Studies			
大学・短期大学名	びわこ学院		大学	
連絡先	びわこ学院大学 教務課			
	TEL :	0748-35-0002	FAX :	0748-23-7202
担当教員	烏野 猛、奥田 愛子、渡辺 雅幸 (教育福祉 学部 教授、教授、准教授)			
実施方法	[対面授業] 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教室名	本学講義室	会場	びわこ学院大学	
授業期間	2025 年 4 月 9 日		2025 年 7 月 16 日	
	<毎週 水曜日> 3 時限・講時		13 : 00 ~ 14 : 30	
超過時の選考方法	抽選			
成績評価方法	定期試験 (筆記)	0		%
	レポート試験 (期末)	60		%
	平常点 (出席・授業態度)	10		%
	その他 (各回のコメントシート)	30		%
別途負担費用	[なし]		あり () 円	
その他特記事項	3名の担当者の総合評価で行う、AL(ミニツツペーパー、ディスカッション)			
<講義概要・到達目標>				
3人の担当者が、心理学、福祉法学、教育学それぞれの専門領域から「子ども学」の研究方法や内容、課題について概説する。また「子ども」に関わる諸課題について、各々の専門領域での検討枠組みの基本的理解をおさえたうえで、その枠組みを超えたアプローチ方法について考察を行う。オムニバス形式であるものの、ディベートや、グループディスカッションを踏まえた講義を展開する。				
①「子ども学」の概要について説明できる。				
②心理学、社会福祉学、教育学の各分野で用いられる基礎的な用語・概念について説明できる。				
③「子ども」に対し、学術的背景を踏まえて対応するための基礎的な知識や考え方・態度を身につけることができる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4 月 9 日	「子ども」の今と昔		
2	4 月 16 日	「子ども」の貧困		
3	4 月 23 日	「子ども」主体の学び		
4	4 月 30 日	子育て支援制度		
5	5 月 7 日	途上国の「子ども」		
6	5 月 14 日	子ども領域における裁判事例①		
7	5 月 21 日	子どもと虐待についての判例考察		
8	5 月 28 日	子どもと親権についての判例考察		
9	6 月 4 日	保育所・幼稚園における事故の判例考察		
10	6 月 11 日	小学校以上の教育現場における事故の判例考察		
11	6 月 18 日	子どもの発達を探る1		
12	6 月 25 日	子どもの発達を探る2		
13	7 月 2 日	子どもの遊びと学び1		
14	7 月 9 日	子どもの遊びと学び2		
15	7 月 16 日	子どもの育ち		
<教科書・参考書>				
適宜、プリント・資料を配布する。				

科目番号	30	科目名	滋賀の環境	
英文科目名	Environment of Shiga			
大学・短期大学名	びわこ学院		大学	
連絡先	びわこ学院大学 教務課			
	TEL :	0748-35-0002	FAX :	0748-23-7202
担当教員	佐々木 和之 (教育福祉 学部 非常勤講師)			
実施方法	[対面授業] 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教室名	2102(第6)講義室	会場	びわこ学院大学	
授業期間	2025 年 9 月 30 日 (火) ~ 2026 年 1 月 20 日 (火) <毎週 火曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30			
超過時の選考方法	抽選			
成績評価方法	定期試験 (筆記)	0		%
	レポート試験 (期末)	22		%
	平常点 (出席・授業態度)	0		%
	その他 (講義内ミニレポート)	78		%
別途負担費用	なし		あり(環境イベント等の交通費)円	
その他特記事項	AL(フィールドワーク、ゲスト・スピーカー、ミニッツ・ペーパー)			
<講義概要・到達目標>				
近年、環境学習の重要性が高まっている。身近に「環境」をうたうものが溢れる中、この講義では滋賀という場を通じて「環境」を捉え直す。前半では、人間生活と生き物の視点から滋賀の環境を捉え、環境に対する取り組みや、環境の認識について学ぶ。後半では、いかに子ども達へ環境問題を伝えるかをテーマとして、フィールドワークなども踏まえながら、演習も行っていく。				
① 環境問題を子ども達へ伝えることをテーマとして、各自が滋賀の環境を認識することができる。 ② 各自が環境への関わり方についての視座を持つことができる。 ③ 身近な環境問題について、複数の視点から問題を捉え、論点を明確に表現できる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9 月 30 日	人と環境		
2	10 月 7 日	市民活動と環境		
3	10 月 14 日	人と自然		
4	10 月 21 日	環境の認識		
5	10 月 28 日	環境の調べ方		
6	11 月 25 日	グリーン購入運動を通じた環境への関わり		
7	12 月 2 日	エネルギー問題と地球温暖化		
8	12 月 9 日	環境学習		
9	12 月 16 日	環境をテーマとした学習計画		
10	12 月 23 日	学びを誘う学習プログラムの立案		
11	未定 日	フィールドで見つける滋賀の自然1		
12	未定 日	フィールドで見つける滋賀の自然2		
13	1 月 6 日	学習のまとめと評価・授業計画と実施における視点		
14	1 月 13 日	地域の魅力を調べる「地域調べ」		
15	1 月 20 日	地域調べの記録化と活用		
<教科書・参考書>				
適宜、プリント、資料を配布する。				

科目番号	31	科目名	スポーツ生理学Ⅱ		
英文科目名	Sports physiology Ⅱ				
大学・短期大学名	びわこ学院			大学	
連絡先	びわこ学院大学 教務課				
	TEL :	0748-35-0002		FAX :	0748-23-7202
担当教員	高木 俊 (教育福祉 学部 准教授)				
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教室名	本学講義室	会場	びわこ学院大学		
授業期間	2025年4月11日(金) ~ 2025年7月18日(金) <毎週金曜日> 2 時限・講時 10 : 40 ~ 12 : 10				
超過時の選考方法	抽選				
成績評価方法	定期試験(筆記)				40 %
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)				10 %
	その他(発表、課題レポートなど)				50 %
別途負担費用	なし あり()円				
その他特記事項	AL(グループワーク・プレゼンテーション)				
<講義概要・到達目標>					
<p>身体活動・運動やスポーツを実施することで生じる一過性の生体応答や習慣的な運動トレーニングによる身体適応について、様々な生理学的視点より学習する。また、効率的な競技力向上・健康づくりのためのトレーニング(筋力・筋パワー・筋持久力・全身持久力)や身体づくり(ウエイトコントロール・骨格筋の増量)について、最新知見を踏まえつつ、生理学的な視点から理解を深める。スポーツ競技・健康づくりに関係する社会的または個人的諸問題に対してスポーツ生理学的な側面から解決策を考え、グループ発表する。</p> <p>① 身体活動やスポーツ実施時の一過性の生体応答や習慣的な継続(トレーニング)による身体適応について様々な視点から生理学的に説明できる。 ② スポーツ競技・健康づくりに関係する社会的または個人的諸問題に対してスポーツ生理学的な側面から解決策を考えることができる。</p>					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4月11日	ガイダンス			
2	4月18日	筋力トレーニングのスポーツ生理学			
3	4月25日	筋パワー・筋持久力トレーニングのスポーツ生理学			
4	5月2日	全身持久力のスポーツ生理学			
5	5月9日	全身持久力トレーニングのスポーツ生理学			
6	5月16日	運動と身体組成			
7	5月23日	運動と栄養摂取(体づくり)			
8	5月30日	運動と内分泌系			
9	6月6日	運動と生活習慣病			
10	6月13日	運動と脳機能			
11	6月20日	運動と環境			
12	6月27日	筋肉痛のスポーツ生理学			
13	7月4日	リカバリーのスポーツ生理学			
14	7月11日	グループ発表			
15	7月18日	まとめ			
<教科書・参考書>					
適宜、プリント・資料を配布する。					

科目番号	32	科目名	メンタルトレーニング論		
英 文 科 目 名	Mental Training Theory				
大学・短期大学名	びわこ学院			大学	
連 絡 先	びわこ学院大学 教務課				
	TEL :	0748-35-0002		FAX :	0748-23-7202
担 当 教 員	竹内 早耶香 (教育福祉 学部 講師)				
実 施 方 法	[対面授業] 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	本学講義室	会場	びわこ学院大学		
授 業 期 間	2025 年 4 月 8 日 (火) ~ 2025 年 7 月 22 日 (火) <毎週 火曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30				
超過時の選考方法	抽選				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)				0 %
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)				50 %
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)				0 %
	そ の 他 (課 題 レ ポ ー ト な ど)				50 %
別 途 負 担 費 用	[なし]		あり()円		
そ の 他 特 記 事 項	AL				
<講義概要・到達目標>					
<p>本授業では、アスリートの実力発揮やパフォーマンスの向上に関係する様々な心理的現象について理解を深めるとともに、自身の日常生活及び競技に対する姿勢について再考することを目指す。そこでは、心理スキルトレーニング方法の習得はもちろん、スキルトレーニングを通じて自身の心理的課題への克服に取り組む。体験的な理解を深める目的から、講義時に実習を予定している。</p>					
<p>① メンタルトレーニングの理論的背景を理解し、説明することができる。 ② アスリートが遭遇する、心理的現象に関する知識を習得し、説明することができる。 ③ 日常生活及び競技に対する姿勢について再考する態度を身につけ、自身の生活に応用することができる。</p>					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4月8日	オリエンテーション			
2	4月15日	メンタルトレーニングの理論的背景			
3	4月22日	メンタルトレーニングの実際① アセスメント			
4	4月29日	メンタルトレーニングの実際② セルフモニタリング			
5	5月13日	メンタルトレーニングの実際③ リラクセーション			
6	5月20日	メンタルトレーニングの実際④ 目標設定			
7	5月27日	メンタルトレーニングの実際⑤ メンタルマネジメント			
8	6月3日	メンタルトレーニングの実際⑥ メンタル・ブロック			
9	6月10日	メンタルトレーニングの実際⑦ ピークパフォーマンス			
10	6月17日	メンタルトレーニングの実際⑧ 集中力			
11	6月24日	メンタルトレーニングの実際⑨ 行動変容技法			
12	7月1日	メンタルトレーニングの実際⑩ バイオフィードバック技法			
13	7月8日	メンタルトレーニングの実際⑪ フォローアップ			
14	7月15日	心理サポートの実際			
15	7月22日	まとめ			
<教科書・参考書>					
適宜、プリント・資料を配布する。					

科目番号	33	科目名	レクリエーション論		
英文科目名	Recreation Theory				
大学・短期大学名	びわこ学院大学			短期大学部	
連絡先	びわこ学院大学短期大学部 教務課				
	TEL :	0748-35-0002	FAX :	0748-23-7202	
担当教員	山ノ井 勉 (ライフデザイン 学科 講師)				
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教室名	本学講義室	会場	びわこ学院大学		
授業期間	2025年4月9日(水) ~ 2025年7月16日(水) <毎週水曜日> 5 時限・講時 16 : 20 ~ 17 : 50				
超過時の選考方法	抽選				
成績評価方法	定期試験(筆記)			0	%
	レポート試験(期末)			30	%
	平常点(出席・授業態度)			40	%
	その他()			30	%
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項	レクリエーションの実践において、物品等の購入が必要となる場合がある。 ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、ミニツツペーパー				
<講義概要・到達目標>					
社会または地域におけるレクリエーションの意義について、「なぜレクリエーションが必要なのか」を問いかけながら理解を深めていくと同時に、グループワークでの具体的なレクリエーション活動の計画・実践を通して、レクリエーション活動を展開する上での基礎的なスキルを習得します。					
① 現代社会におけるレクリエーションの意義および理念が理解できる。 ② レクリエーション実践のための基礎的なスキルを習得することができる。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4月9日	オリエンテーション			
2	4月16日	レクリエーションの歴史と人間社会			
3	4月23日	レクリエーションの活動領域			
4	4月30日	日常生活とレクリエーション			
5	5月7日	レクリエーションの参加者と支援者の役割			
6	5月14日	個人・集団のレクリエーション			
7	5月21日	社会福祉におけるレクリエーション活動			
8	5月28日	授業内試験(レポート)			
9	6月4日	レクリエーションの企画と実際			
10	6月11日	近年の動向におけるレクリエーションの位置づけと実践①			
11	6月18日	近年の動向におけるレクリエーションの位置づけと実践②			
12	6月25日	レクリエーション活動の実際①			
13	7月2日	レクリエーション活動の実際②			
14	7月9日	レクリエーション活動の実際③			
15	7月16日	授業内試験(計画書の作成)			
<教科書・参考書>					
適宜、プリント・資料を配布する。					

科目番号	34	科目名	生活と福祉	
英文科目名	Life and Welfare			
大学・短期大学名	びわこ学院大学		短期大学部	
連絡先	びわこ学院大学短期大学部 教務課			
	TEL :	0748-35-0002	FAX :	0748-23-7202
担当教員	山ノ井 勉 (ライフデザイン 学科 講師)			
実施方法	[対面授業] 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教室名	本学講義室	会場	びわこ学院大学	
授業期間	2025年9月8日(月) ~ 2026年1月26日(月) <毎週月曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30			
超過時の選考方法	抽選			
成績評価方法	定期試験(筆記)	0		%
	レポート試験(期末)	70		%
	平常点(出席・授業態度)	20		%
	その他(レポートなど)	10		%
別途負担費用	[なし]		あり()円	
その他特記事項	授業終了前にミニツツペーパーを実施します。			
<講義概要・到達目標>				
人間の生活において、福祉というのは大変重要な部分を占めていると考えられます。そこで、本講義では、これまでの人間の暮らしに関する社会福祉の理論や歴史等について学びつつ、現在までの生活や福祉に関わる社会制度のあり方や役割等について学びます。また、介護福祉士の資格試験に向けた対策も行う。そのため、振り返りシートの実施や、授業で取り組む課題について能動的な取り組みが必要となります。				
① 生活と福祉との関係について理解し、基本的知識を習得することができる。 ② 少子高齢社会など現代社会の課題を理解し、地域に貢献できる社会人としての基本的な姿勢・態度を身につけることができる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9月8日	オリエンテーション		
2	9月22日	生活と福祉		
3	9月29日	社会福祉の理論① 社会福祉と社会保障		
4	10月6日	社会福祉の理論② 社会保障論		
5	10月13日	社会福祉の理論③ 相談支援		
6	10月20日	社会福祉の理論④ 相談支援		
7	10月27日	授業内試験(筆記)		
8	11月24日	高齢者に対する支援①		
9	12月1日	高齢者に対する支援②		
10	12月8日	子どもに対する支援①		
11	12月15日	子どもに対する支援②		
12	12月22日	福祉にかかわる諸制度①		
13	1月5日	福祉にかかわる諸制度②		
14	1月19日	福祉にかかわる諸制度③		
15	1月26日	授業内試験(レポート)		
<教科書・参考書>				
適宜、プリント・資料を配布する。				

科目番号	35	科目名	栄養と健康	
英文科目名	Nutrition and Health			
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ		大学	
連絡先	大津市北比良1204番地			
	TEL :	077-596-8420	FAX :	077-596-8429
担当教員	武田 哲子 (スポーツ 学部 准教授)			
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名		会場		
授業期間	2025年4月14日(月)～2025年7月24日(木) <毎週 曜日> 時限・講時 : ~ :			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)	30	%	
	レポート試験(期末)	40	%	
	平常点(出席・授業態度)		%	
	その他(中間試験)	30	%	
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	毎週1回オンデマンドで配信			
<講義概要・到達目標>				
人の体は食べたものからできている。何を、どのように食べるかは健康的な生活を送るために重要な課題である。この授業では食事の働きについて理解し、健康的な生活を実践するために必要な知識を修得することを目的とする。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	月 日	ガイダンスと食事と健康に関する概説		
2	月 日	エネルギー源		
3	月 日	身体づくり		
4	月 日	身体の機能調節		
5	月 日	健康のための身体づくりの評価		
6	月 日	食生活の把握		
7	月 日	前半授業内容の復習と達成度チェック		
8	月 日	成長期の食事の課題(身体的特徴と食生活)		
9	月 日	思春期の食事の課題		
10	月 日	成長期や思春期における食育		
11	月 日	成人期の食事の課題(肥満、メタボリックシンドローム)		
12	月 日	高齢期の食事の課題(骨・筋の健康維持)		
13	月 日	栄養教育の概論		
14	月 日	栄養教育の実践方法		
15	月 日			
<教科書・参考書>				
教科書は特に指定しない。参考文献は適宜紹介する。				

科目番号	36	科目名	スポーツ社会学概論	
英文科目名	Introduction of Sport Sociology			
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ		大学	
連絡先	大津市北比良1204番地			
	TEL :	077-596-8420	FAX :	077-596-8429
担当教員	佐藤 馨 (スポーツ 学部 准教授)			
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名		会場		
授業期間	2025年9月22日(月)～2026年1月20日(火) <毎週 曜日> 時限・講時 : ~ :			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)	65	%	
	レポート試験(期末)	5	%	
	平常点(出席・授業態度)		%	
	その他(授業中盤の確認テスト)	30	%	
別途負担費用	なし()円			
その他特記事項	毎週1回オンデマンドで配信			
<講義概要・到達目標>				
<p>スポーツ社会学では、スポーツの場面での人の行為や行動、スポーツに関わる組織やスポーツを通じて起こる社会現象や変動を学習する。講義では、スポーツに関連する事象を「人種・民族」「ジェンダー」「暴力」「マスメディア」「ドーピング」「政治」のテーマからスポーツに包含される課題を学ぶ。特にドーピングについては、学習指導要領「スポーツの歴史・文化的特徴と現代の特徴」において、それがスポーツの文化的価値を失わせる行為であることを過去の事例から理解し、その指導方法や授業計画の立て方について検討する。</p>				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	月 日	スポーツ社会学概論:ガイダンスおよびスポーツ社会学の概説		
2	月 日	社会学とスポーツ スポーツにおける社会学の位置づけ		
3	月 日	社会学とスポーツ スポーツをする行為と社会による影響		
4	月 日	人種・民族とスポーツ 人種・民族とスポーツとの関わり		
5	月 日	人種・民族とスポーツ 歴史的にみたスポーツにおける人種・民族問題		
6	月 日	ジェンダーとスポーツ ジェンダーとは何か		
7	月 日	ジェンダーとスポーツ らしさとスポーツ		
8	月 日	ドーピングとスポーツ		
9	月 日	スポーツとメディア メディアがスポーツに与える影響		
10	月 日	スポーツとメディア スポーツの「見せ方」「あつかい方」		
11	月 日	スポーツとガバナンス		
12	月 日	スポーツとハラスメント		
13	月 日	スポーツと政治 スポーツと政治との結びつき		
14	月 日	スポーツと政治 スポーツにおけるテロリズム		
15	月 日			
<教科書・参考書>				
教科書は特に指定しない。				
【参考文献】				
『Sport in Society 7th Ed』Coakley, J.J., Boston; MacGraw-Hill, 2001				
『スポーツの社会学』池田勝,守能信次編 杏林書院 1998				
『現代スポーツの社会学-課題と共生への道のり-』J.コークリー,P.ドネリー著、前田和司,大沼義彦,村松和則 共編訳,南窓社,2011				

科目番号	37	科目名	レジャー・レクリエーション論	
英文科目名	Study of Leisure and Recreation			
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ		大学	
連絡先	大津市北比良1204番地			
	TEL :	077-596-8420	FAX :	077-596-8429
担当教員	佐藤 馨 (スポーツ 学部 准教授)			
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名		会場		
授業期間	2025年4月14日(月)～2025年7月24日(木) <毎週 曜日> 時限・講時 : ~ :			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)		65	%
	レポート試験(期末)		5	%
	平常点(出席・授業態度)			%
	その他(授業中盤の確認テスト)		30	%
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	毎週1回オンデマンドで配信			
<講義概要・到達目標>				
<p>日本では経済活動だけでなく生活や人生を豊かにするレジャーやレクリエーション活動に目を向け、その重要性を再認識する時期と言える。本講義は、日常生活におけるレジャー・レクリエーションの意義や価値を理解するとともに、レクリエーション支援者として必要な基礎知識を習得する。さらに学習指導要領のスポーツ概論「豊かなスポーツライフの設計」にある、各ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツの楽しみ方を理解し、指導時に活用できる知識を学ぶ。</p>				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	月 日	レジャー・レクリエーション論:ガイダンスおよびレジャー・レクリエーション論の概説		
2	月 日	レジャー・レクリエーションの考え方①レジャー・レクリエーションとは何か		
3	月 日	レジャー・レクリエーションの考え方②現代社会において、なぜレジャー・レクリエーションは必要か		
4	月 日	日本人の余暇生活		
5	月 日	諸外国における余暇生活		
6	月 日	前半までの授業のまとめと確認		
7	月 日	社会福祉とレクリエーション①福祉におけるレクリエーションの意味		
8	月 日	社会福祉とレクリエーション②セラピューティックレクリエーションの意味		
9	月 日	セラピューティックレクリエーションの視点からみたサービスモデルの活用①余暇活用モデル、健康維持・増進モデル		
10	月 日	セラピューティックレクリエーションの視点からみたレクリエーションサービスモデルの活用②楽しさ向上モデル、TRサービスモデル		
11	月 日	レクリエーションによる対人関係能力向上モデルの活用①レクリエーション活用事例		
12	月 日	レクリエーションによる対人関係能力向上モデルの活用②プログラムの作成方法		
13	月 日	現場におけるセラピューティックレクリエーションの活用		
14	月 日	レジャー・レクリエーションとスポーツと健康の関わり②21世紀のレジャー・レクリエーション		
15	月 日			
<教科書・参考書>				
教科書は特に指定しない。				
【参考文献】				
『現代人とレジャー・レクリエーション』余暇問題研究所編著 不昧堂 1997				
『レクリエーション・マネジメント』(財)日本レクリエーション協会編 大修館書店 1994				
『レクリエーション活動援助法』吉田圭一、茅野宏明編 ミネルヴァ書房 2007				
『レクリエーション援助』千葉和夫編 メヂカルフレンド社 1997				
『余暇学を学ぶ人のために』日本余暇学会監修 世界思想社 2004				
『地域福祉論』市川一宏、牧里毎治編著 ミネルヴァ書房 2007				

科目番号	38	科目名	スポーツバイオメカニクス概論		
英文科目名	Sport Biomechanics				
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ			大学	
連絡先	大津市北比良1204番地				
	TEL :	077-596-8420	FAX :	077-596-8429	
担当教員	高橋 佳三 (スポーツ 学部 教授)				
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用		
教室名		会場			
授業期間	2025年4月14日(月)～2025年7月24日(木) <毎週 曜日> 時限・講時 : ~ :				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定期試験(筆記)	70			%
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)				%
	その他(毎回の小テスト)	30			%
別途負担費用	なし あり()円				
その他特記事項	毎週1回オンデマンドで配信				
<講義概要・到達目標>					
<p>スポーツバイオメカニクスとは、「スポーツにおける運動、ヒト、用具、施設のふるまいを力学的観点から研究するスポーツ科学の基礎的領域の一つ」である。この講義では、様々なスポーツの動作について「動作をバイオメカニクスの観点から考える」ことを学び、スポーツの動作についてより深く観察、考察できるようになることを目的とする。基礎的な力学的計算ができ、動作の力学的な原理・原則を理解できるようになることで、スポーツの動作を力学的な視点で観察し、考察できるようになる。</p>					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	月 日	スポーツバイオメカニクスとは？(イントロダクション)			
2	月 日	スポーツ技術とはなにか？			
3	月 日	速度、ピッチ、ストライド			
4	月 日	スポーツバイオメカニクスの基礎(1):重心			
5	月 日	スポーツバイオメカニクスの基礎(2):運動と力			
6	月 日	スポーツバイオメカニクスの基礎(3):運動量と力積(I)			
7	月 日	スポーツバイオメカニクスの基礎(4):運動量と力積(II)			
8	月 日	スポーツバイオメカニクスの基礎(5):仕事と力学的エネルギー			
9	月 日	スポーツバイオメカニクスの基礎(6):回転運動と慣性モーメント			
10	月 日	スポーツバイオメカニクスの基礎(7):回転運動と角運動量			
11	月 日	スポーツバイオメカニクスの基礎(8):流体力1(空気の流れと物体の形状、ボールの回転)			
12	月 日	スポーツバイオメカニクスの基礎(9):流体力2(水の流れと物体の動き)			
13	月 日	スポーツバイオメカニクスの基礎(10):良い動きのバイオメカニクスの原則			
14	月 日	まとめ:授業の総合解説			
15	月 日				
<教科書・参考書>					
教科書は特に指定しない。					
【参考文献】					
「スポーツバイオメカニクス」深代千之、桜井伸二、平野裕一、阿江通良 編著、朝倉書店					
「スポーツバイオメカニクス20講」阿江通良、藤井範久 著、朝倉書店					
「バイオメカニクスで読み解く スポーツ動作の科学」深代千之、川本竜史、石毛勇介、若山章信 著、東京大学出版会					

科目番号	39	科目名	神経科学総論A		
英 文 科 目 名	Introduction to Neuroscience (A)				
大学・短期大学名	びわこリハビリテーション専門職			大学	
連 絡 先	びわこリハビリテーション専門職大学 びわこ東近江キャンパス事務センター				
	TEL :	0749-46-2311	FAX :	0749-46-2313	
担 当 教 員	三谷 章			(リハビリテーション 学部 教授)	
実 施 方 法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用		
教 室 名	4階 大ホール	会場	八日市キャンパス		
授 業 期 間	2025 年 4 月 11 日 (金) ~ 2025 年 7 月 25 日 (金) <毎週 金曜日> 1 時限・講時 9 : 20 ~ 10 : 50				
超過時の選考方法	書類選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			0	%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			0	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			0	%
	そ の 他 (毎 回 実 施 の 小 テ ス ト の 成 績)			100	%
別 途 負 担 費 用	なし			あり()円	
そ の 他 特 記 事 項	学習支援システムmanabaを使用する。欠席連絡や質問等はmanabaを活用する。				
<講義概要・到達目標>					
<p>神経系全般の構造と機能について初級講義を行う。具体的には、①生命維持に重要な自律神経機能、②機能素子としてのニューロンの働き、③運動発現の仕組み、について講述し、神経系全般にわたる広い基礎知識の習得を促す。リハビリテーション科学、心理学や生命科学などを修めるうえで役に立つ神経系の包括的イメージの形成を目指す。</p> <p>講義内容は、文系・理系を問わず神経系に興味のある学生が聴講するというレベルである。また将来、専門課程に進んで神経系に関する研究を行う学生がその知識の整理のために聴講するのもにも適している。「神経科学総論A」のみの受講も可能だが、「神経科学総論B」も受講することによって神経系全体を学習できるので、連続した受講を推奨する。本科目は大学京都コンソーシアムにおいて京都大学で開講していた同名科目を再構成したものである。</p>					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4 月 # 日	神経系の構成			
2	4 月 # 日	自律神経機能(構成、交感神経系、副交感神経系、調節機構)			
3	4 月 # 日	ニューロンの機能(静止電位の形成)			
4	5 月 9 日	ニューロンの機能(活動電位の発生)			
5	5 月 # 日	ニューロンの機能(活動電位の伝導)			
6	5 月 # 日	ニューロンの機能(シナプス伝達)			
7	5 月 # 日	筋収縮機構(骨格筋の構造と興奮収縮連関)			
8	6 月 6 日	筋収縮(単収縮、強縮)			
9	6 月 # 日	脊髄(運動ニューロン、運動単位)			
10	6 月 # 日	脊髄(筋の受容器)			
11	6 月 # 日	脊髄(反射)			
12	7 月 4 日	大脳皮質運動野(構成、伝導路)			
13	7 月 # 日	脳幹の運動機能			
14	7 月 # 日	大脳基底核の構造と機能			
15	7 月 # 日	小脳の構造と機能			
<教科書・参考書>					
教科書は使用しない。原則、毎回の授業で配布する講義プリントを使用する。参考書は授業中に紹介する。					

科目番号	40	科目名	神経科学総論B	
英 文 科 目 名	Introduction to Neuroscience (B)			
大学・短期大学名	びわこリハビリテーション専門職		大学	
連 絡 先	びわこリハビリテーション専門職大学 びわこ東近江キャンパス事務センター			
	TEL :	0749-46-2311	FAX :	0749-46-2313
担 当 教 員	三谷 章 (リハビリテーション 学部 教授)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 (対面・遠隔併用)			
教 室 名	4階 大ホール	会場	八日市キャンパス	
授 業 期 間	2025 年 9 月 16 日 (火) ~ 2026 年 1 月 13 日 (火) <毎週 火曜日> 3 時限・講時 13 : 20 ~ 14 : 50			
超過時の選考方法	書類選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)	0	%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)	0	%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	0	%	
	そ の 他 (毎 回 実 施 の 小 テ ス ト の 成 績)	100	%	
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項	学習支援システムmanabaを使用する。欠席連絡や質問等はmanabaを活用する。			
<講義概要・到達目標>				
<p>神経系全般の構造と機能について初級講義を行う。具体的には、①各感覚系の情報処理機構、②情報を統合する統合系機能、③個体維持や種族保存に関係する神経機能、などについて講述し、神経系全般にわたる広い基礎知識の習得を促す。リハビリテーション科学、心理学や生命科学などを修めるうえで役に立つ神経系の包括的イメージの形成を目指す。</p> <p>講義内容は、文系・理系を問わず神経系に興味のある学生が聴講するというレベルである。また将来、専門課程に進んで神経系に関する研究を行う学生がその知識の整理のために聴講するのもにも適している。本科目は大学京都コンソーシアムにおいて京都大学で開講していた同名科目を再構成したものである。</p>				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9 月 # 日	感覚系総論		
2	9 月 # 日	平衡感覚(受容機構)		
3	9 月 # 日	平衡感覚(伝導路と機能)		
4	10 月 7 日	聴覚(受容機構)		
5	10 月 # 日	聴覚(中枢情報処理機構)		
6	10 月 # 日	体性感覚(受容機構)		
7	11 月 # 日	体性感覚(伝導路)		
8	11 月 # 日	視覚(眼球、網膜構造)		
9	11 月 # 日	視覚(網膜の情報処理)		
10	12 月 2 日	視覚(伝導路、大脳皮質視覚野)		
11	12 月 9 日	味覚・嗅覚		
12	12 月 # 日	高次脳機能(大脳皮質の構造)		
13	12 月 # 日	高次脳機能(睡眠、覚醒、脳波)		
14	1 月 6 日	高次脳機能(大脳皮質適合野)		
15	1 月 # 日	高次脳機能(辺縁系、視床下部)		
<教科書・参考書>				
教科書は使用しない。原則、毎回の授業で配布する講義プリントを使用する。参考書は授業中に紹介する。				

科目番号	41	科目名	薬学概論(Y)	
英 文 科 目 名	Introduction to Pharmacy (Y)			
大学・短期大学名	立命館		大学	
連 絡 先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1			
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935
担 当 教 員	鈴木 健二 ほか9名 (薬 学 部 教 授)			
実 施 方 法	対面授業		遠隔授業 対面・遠隔併用	
教 室 名	フォレストハウス F204	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス	
授 業 期 間	2025 年 4 月 8 日 (火) ~ 2025 年 7 月 15 日 (火) <毎週 火曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 35			
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		100	%
	そ の 他 ()			%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
その他特記事項	<p><講義概要・到達目標></p> <p>【授業の概要と方法】 薬学部薬学科に入学した学生に対する「導入科目」と位置づけ、6年間の学び全般について概説する。まず「薬学とは何か」、「薬学科6年制の意味するところ」、「薬学科での学びの全体像」について説明する。そして、「生命の尊厳」、「医療倫理」、「生命倫理」、「薬とは何か」、「どのように作用するか」、「薬は体内でどのような運命をたどるか」、「薬剤師の職務・責任、活動分野」、「薬害」、「医薬品の開発」、「チーム医療とコミュニケーション」、「医薬品開発」、「治験」、「社会保障と保険医療」、「薬剤師として求められる資質」などについて概説する。</p> <p>【到達目標】 生命・医療に係る倫理観を身に付け、医療人としての感性を養い、様々な倫理的問題や倫理的状況において主体的に判断し、プロフェッショナルとして行動する。B-1-1-1) 医療の担い手として、必要な知識・技能の修得に努め、自身の職業観を養い、生涯にわたり学び続ける価値観を形成する。B-1-1-3) 薬剤師の社会的使命、法的責任、遵守すべき行動規範を理解し、患者・生活者の健康な生活を確保するという薬剤師の任務と責任を自覚する。B-1-3-1) 薬剤師の任務を適正に遂行するために必要な法規範を理解し、薬剤師の業務と関連付けて説明する。B-1-3-2) 医薬品等による健康被害の重大性や被害者本人、家族等の全人的苦痛について理解し、薬害や医療事故防止に薬剤師が果たすべき役割や責任の重要性を説明する。B-1-3-3) 患者・生活者の心理、立場、環境、状態に配慮し、非言語コミュニケーションを含めて適切なコミュニケーションを図り、良好な人間関係を構築する。B-2-1-1) 医療、保健、介護、福祉に関わる他の専門職の職能について理解し、多職種連携における薬剤師の役割や専門性について説明する。B-2-2-1) 社会保障制度の考え方とその枠組みを説明する。B-3-2-1) 社会保障制度の下で提供される医療、介護、福祉の体制と仕組み及び関係する機関・職種の役割を理解し、薬剤師に求められる役割を説明する。B-3-2-2) 医療保険財政が抱える課題について理解を深め、医療保険制度の維持・存続における行政、関係機関・職種、国民の役割を説明する。B-3-3-1) 医薬品の創製から承認、市販後までのライフサイクルを理解し、医薬品の開発過程とその体制について説明する。B-4-1-1) 医薬品開発に係る臨床研究について、法規制、制度、仕組みを説明する。B-4-1-2) 医薬品開発を取り巻く国内外の動向を知り、医薬品の開発が世界レベルで進められており、国際的な状況が日本の医療に直接影響することを説明する。B-4-1-3) 薬害の歴史とその社会的背景について理解を深め、薬害を発生させないための行動を認識し、責任を自覚する。B-4-2-3) 医薬品及び医薬品原料としての生薬について、代表的な生薬の基原、特徴、用途、成分及び確認試験、品質評価法等の基本的事項を説明する。C-5-1-1)</p>			

医薬品の化学構造の特徴と、標的となる身体の仕組みや分子との関連をもとに、薬の作用メカニズムや作用様式を説明する。D-1-1-2)
 薬物の物理化学的性質と生体の構造及び機能から、生体内の薬物動態を説明する。D-4-1-1)
 固形製剤、半固形製剤、液状製剤など、様々な製剤を作成するために必要な製剤材料の種類と物性と関連する基本的理論について説明する。D-5-1-1)

【成績評価方法】

レポート(3回)を提出する(75%)。
 14回目に理解度を確認する試験または、これに替わるものを実施する(25%)。

【授業外学習の指示】

薬学部での学びの全体像を把握できるように講義を行う予定である。医療人である薬剤師等を目指す自覚を持ち、責任感を身につけ、また自らが問題点を探し(課題探求)、自らその解決策を考える(課題解決)態度を身につけるようにして欲しい。

【受講および研究に関するアドバイス】

健康、命、くすり、薬剤師、などに関する新聞やテレビなどの記事、ニュース、特集などは興味を持って読んでもらいたい。

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	4月8日	薬学とは何か 担当者:鈴木健二
2	4月15日	生命の尊厳 担当者:林嘉宏
3	4月22日	生命倫理 担当者:北村佳久
4	4月29日	薬とは何か 担当者:田中謙
5	5月13日	薬の作用するプロセス 担当者:天ヶ瀬紀久子
6	5月20日	医薬品開発のプロセス 担当者:鈴木健二
7	5月27日	医薬品の創製と治験 担当者:鈴木健二
8	6月3日	体内での薬の運命(薬物動態) 担当者:桂敏也
9	6月10日	薬剤師の活動分野 担当者:藤田隆司
10	6月17日	薬剤師の職務と責任 担当者:上島智
11	6月24日	薬害 担当者:藤田隆司
12	7月1日	チーム医療とコミュニケーション 担当者:角本幹夫
13	7月8日	社会保障と医療保険 担当者:細木るみこ
14	7月15日	薬剤師と資質、総括 担当者:鈴木健二
	月 日	

<教科書・参考書>

【教科書】

教科書は指定しないが、プリント(レジュメ)、参考資料を適宜配布する。

【参考書】

『薬学教室へようこそ』 二井将光 著(講談社 978-4-06-257931-5 (ブルーバックス))
 『薬学へのいざない』 鎌滝哲也 著(東京化学同人 978-4-8079-1289-6)

【備考】

『薬学教室へようこそ』(二井将光著)は、事前に読むことを強く薦める。
 個々のテーマに関する参考書等については随時、紹介する。

科目番号	42	科目名	経済学特殊講義Ⅱ(金融・証券分析基礎)(E)		
英文科目名	Topics in Economics II Introduction to Financial Analysis(E)				
大学・短期大学名	立命館		大学		
連絡先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1				
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935	
担当教員	三好 秀和 (経済 学部 招聘教員)				
実施方法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	事務局内会議室	会場	環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局		
授業期間	2025年8月25日(月)～2025年8月29日(金) <夏集中講義Ⅰ> 時限・講時 10 : 45 ～ 16 : 30				
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考				
成績評価方法	定期試験(筆記)				%
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)	100			%
	その他()				%
別途負担費用	なし あり()円				
その他特記事項	環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局は日本生命大津ビル4階(JR大津駅から徒歩1分)。				
<講義概要・到達目標>					
【授業の概要と方法】					
<p>今年から授業方法と内容を変更する。講義形式で行うが確実に身に付けてもらうため单元ごとに演習問題を解いてもらい自己採点をおこなってもらう。質問は都度受け付け、受講生の共有財産とする。</p> <p>内容は証券アナリスト一次試験の基礎となる内容であるが基礎的な知識や陥りやすい疑問を含めて解説するので本格的にアナリストを目指す学生には特に有意義である。</p> <p>さらに本講義の内容は金融リテラシー向上のために有意義である。企業では社内教育や福利厚生の一環として金融教育を人事総務部が行っている。それは退職金として確定拠出年金制度が導入され自己責任のもと従業員がしているからだ。つまり、退職金の額は自分の運用能力しだい決定する。</p> <p>このようにこの講義はリテラシーに有用であるというだけでなく、上場会社ではM&Aが最大の投資となっていることから本講義の知識が実はM&Aの基礎となるため、アナリストを目指す学生だけではなく、インベストメントバンキング部門の金融機関や一般事業法人の経営企画部門、IR部門の担当者を目指す学生にとっても有用である。</p> <p>就職活動を通じて企業と接点をもつことになる学生がここでの学習を元に企業活動の実態を理解する上で役立つ。企業とは何か、その活動を支える資本市場の意義を理論と実例から学び次世代を担う人材となり有意義な人生をおくってほしい。</p>					
【受講生の到達目標】					
<ol style="list-style-type: none"> 1.金融・証券分析の基礎知識を学ぶことができる。 2.企業の行動原理を理解することができる。 3.現実のトピックスを通して企業活動のダイナミズムを実感できる。 					
【成績評価方法】					
<p>日常的な授業における取組状況の評価45%(授業に積極的に参加したり卓越した発言などは加点することがある。)とレポート課題55%で決定する。レポートは授業中に開示する。</p>					
【授業外学習の指示】					
<p>復習に重点を置いて学習してもらいたい。授業は現代投資理論の基づいた世界標準の内容である。授業で内容の理解度の確認のためQAを設定している。講義を聴くだけでは自分の実力とはならない。手を動かし、電卓をたたいて初めて習得できるものと心得る。</p>					
【受講および研究に関するアドバイス】					
<p>積極的に努力し復習することを奨励したい。経済や金融は現実の世界で動いている。日々変動する金融理論は机上の空論ではない。また、就職時期になって対策を立てるようなことでは心もとない。経済の基礎的な知識は大学生の早い時期にしっかりと身に付けておくと視野を広げる意味でもよい。</p>					
【参考になるwwwページ】					
<p>日本証券アナリスト協会のWEBにはアナリスト講座の申込みだけではなく、企業のIRセミナーを学生に公開している。学生会員として登録すれば経営者を身近に感じることが可能となる。 http://www.saa.or.jp/</p>					

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	8月25日	(1)株式の意義 バランスシート上の株式、上場することの意義、経営者にとって株主の存在とは何か、株式の法的な意義とは何か、株価はどうすれば上昇するか、株価はどのように決定するか。 (2)株式市場と株価の決定理論 株式の評価、DDM、収益率、効率的市場仮説、予測と情報、EPS、PER、PBR。 (3)株価の決定理論と周辺知識 金利と将来価値、単利と複利、期待リターンとリスク、資産評価、DCM、定率成長キャッシュフローの評価。
2	8月26日	(4)債券とは何か 債権と債券、バランスシート上の債券の意義、債券の仕組み、種類、発行体、期間と格付。 (5)債券の理論価格 債券の利回りと価格の関係、債券の理論価格、イールドカーブ、残存期間の短長とクーポンの大小の価格への影響。 (6)債券投資分析 マコーレーのデュレーション、修正デュレーション、コンベクシティの意味。
3	8月27日	(7)デリバティブとは デリバティブとは、評価の基本、先渡し取引と先物取引の仕組み、裁定取引。 (8)オプション取引 オプション取引の仕組み、制度と種類、コールとプットのそれぞれの損益曲線、本源的な価値と時間価値。 (9)デリバティブの投資戦略 ヘッジ、リスクテイキング、アービトラージ。 (10)現代ポートフォリオ理論1
4	8月28日	証券投資のリスクとリターン、効用関数、リスクに対する態度、平均分散アプローチによる効用関数。 (11)現代ポートフォリオ理論2 複数資産による分散効果、効率的フロンティアの特徴、資産最適化、安全性資産を含むポートフォリオと分離定理。 (12)現代ポートフォリオ理論3 資本資産評価モデルと市場ポートフォリオ、市場ポートフォリオの有用性、資本市場線、証券市場線。
5	8月29日	(13)資産運用の実践1 投資政策とポートフォリオマネジメントのプロセス、ポリシーアセットミックス、資産クラスの期待リターンとリスク、リバランス。 (14)資産運用の実践2 機関投資家の運用方法、年金運用と資産運用、ESG投資とスチュワードシップコード。 (15)資産運用の実践3 個人投資家の資産運用、リスク許容度、ライフサイクル、リスク測定の考え方、ベンチマーク。
＜教科書・参考書＞ 【参考書】 『新版ファンドマネジメント大全』三好秀和編著(同友館 9784496055874)		
【参考書(備考)】 多くの運用会社で利用されている実務書である。学生には運用会社の業務内容を知る上で有益であるが参考程度で購入する必要はない。高額なため図書館で貸し出しを受けるのがよい。		
【備考】 ハーバードでは「今あなたは眠って夢を見ることができる。しかし、眠らずに今勉強すれば近い将来、夢を実際に見ることができる」と学生たちの間で話題となっている。24時間勉強する必要はないが授業に集中すべきだし、自宅で勉強できなければ授業に出席すべきである。成績と授業出席率は相関関係が成立している。		

科目番号	43	科目名	近現代の科学技術(G1)	
英文科目名	Modern History of Science and Engineering(G1)			
大学・短期大学名	立命館		大学	
連絡先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1			
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935
担当教員	飴山 恵、永井 清 (理工 学部 教授)			
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	コラーニングハウスIC402	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス	
授業期間	2025年4月8日(火)～2025年7月15日(火) <毎週 火曜日> 3 時限・講時 13 : 10 ~ 14 : 45			
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)			%
	平常点(出席・授業態度)		100	%
	その他()			%
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項				
<講義概要・到達目標>				
【授業の概要と方法】				
<p>前半7回の講義は飴山が担当する。第0回目の授業は、+R授業(VOD20分)とする。VODで行うこの+R授業についてはコースニュースのURLから視聴し、第1回目授業日までに事前学習すること。</p> <p>「材料科学」と「ものづくり産業」の歴史的変遷と現代の到達点および諸課題について学習した上で、持続可能な低炭素社会を実現するためのクリーンエネルギー創出・利用技術について、文社系学生に分かり易く解説する。</p> <p>後半7回の講義は、以下の内容で永井が担当する。</p> <p>「ロボット工学」と「人工知能(AI)」について、その基本的な概念から現代における技術の到達点および社会実装における課題まで、文系学生にも分かりやすく解説する。特に、産業界での活用事例や身近な生活での応用例を取り上げながら、これらの技術が社会に与える影響についても考察する。</p> <p>授業の方法については、対面授業の場合は、スライドや板書、資料を用いた説明を主とする。オンライン授業の場合は、Web講義とmanaba+Rに掲載する資料を用いる。</p>				
【受講生の到達目標】				
<p>前半7回の講義では、学生が「材料科学」と「ものづくり産業」における歴史的経緯と現代の到達点・諸課題を把握するとともに、持続可能な低炭素社会実現に向けて、自然エネルギーの有効利用技術の動向を把握することを目標にする。</p> <p>後半7回の講義では、学生が「ロボット工学」と「人工知能(AI)」における基本概念と現代の到達点を理解するとともに、これらの技術が産業や社会に与える影響を多角的に考察できるようになることを目指す。また、近未来社会におけるロボットやAIとの共生について、技術的・倫理的観点から自分なりの考えを持つようになることを目標にする。</p>				
【成績評価方法】				
<p>・評価比率は、前半7週(50%)＋後半7週(50%)＝合計100%とする。</p> <p>・毎回の授業における小テスト、またはレポート課題を実施する。</p> <p>これらを総合して評価する。</p>				
【授業外学習の指示】				
<p>科学は身近にあふれています。科学に関する雑誌や新聞に注意を向け、疑問に思ったことがあれば些細なことでも調べる癖をつけるように。</p>				
【受講および研究に関するアドバイス】				
<p>科学は遠くにある難しいものではありません。身近なところにある科学技術に興味を持ち、自分でも実際に触れたり調べたりしてみましょう。日常の楽しみが広がります。</p>				

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	4月8日	文明の始まりと材料の発達【概説】:石器時代→青銅器時代→鉄器時代→現代社会
2	4月15日	ものづくり技術の発達I【原動機】:人力, 風車, 水車, モーター, エンジン, 蒸気タービン, ガスタービン, ロケットなど
3	4月22日	ものづくり技術の発達II【エネルギー】:化石燃料, 原子力, 自然エネルギー(風力, 水力, 太陽光, 潮汐力など)
4	4月29日	ものづくり技術の発達III【環境問題】:地球温暖化のメカニズム、解決方法の模索、低炭素社会の実現
5	5月13日	材料科学と社会I【資源】:さまざまな資源の性質と確保
6	5月20日	材料科学と社会II【日本の科学技術の源流】:近世の科学技術。日本刀の製造技術と特性発現メカニズム。高度で独創的な江戸時代の機械。
7	5月27日	材料科学と社会III【現代の日本の科学技術】:先端的科学技術。現代の情報社会を支える様々な技術。
8	6月3日	ロボットとは何か - その歴史と基本概念:産業用ロボット、サービスロボット、ロボットの3原則
9	6月10日	ロボットの構成要素と制御の基礎:センサ、アクチュエータ、フィードバック制御、コンピュータ
10	6月17日	人工知能(AI)の基礎と歴史:機械学習、ディープラーニング、第1次~第3次AIブーム、強いAIと弱いAI
11	6月24日	AI技術の現状と応用:画像認識、自然言語処理、音声認識、自動運転、AI倫理
12	7月1日	産業界におけるロボットとAIの活用:スマートファクトリ、協働ロボット、デジタルツイン、Industry 4.0
13	7月8日	社会実装されるロボットとAI:介護ロボット、コミュニケーションロボット、医療支援AI、教育支援AI
14	7月15日	未来社会とロボット・AI技術:Society 5.0、人間とAIの共生、技術の社会的受容性、雇用への影響
	月日	
＜教科書・参考書＞ 【教科書】 講義で使用する資料をmanaba+Rに提示するので、利用して下さい。		
【参考書】 『機械材料学』日本材料学会編著(日本材料学会 9784901381000) 『近代科学はなぜ東洋でなく西欧で誕生したか』菅野礼司 著(吉岡書店 9784842703718) 『科学の発見』S. ワインバーグ 著(文芸春秋 978-4-16-390457-3) 『AI×ロボット革命』新井亨, 鄭剣豪 著(カナリアコミュニケーションズ 978-4-7782-0528-7) 『生成AIで世界はこう変わる』今井翔太 著(SBクリエイティブ 978-4-8156-2297-8)		
【参考になるwwwページ】 特にないが、講義中のキーワードなどで興味があればどんどん検索して、深掘りしてみましよう。一つのサイトの情報を鵜呑みにするのではなく、いくつかのサイトの内容を比較しながら知識を得ること。		

科目番号	44	科目名	生命科学概論(M)		
英 文 科 目 名	Introduction to Life Sciences (M)				
大学・短期大学名	立命館			大学	
連 絡 先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1				
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935	
担 当 教 員	石水 毅 ほか6名 (生命科 学部 教授)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	コラーニングハウスI C101	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス		
授業期間	2025 年 4 月 7 日 (月) ~ 2025 年 7 月 14 日 (月) <毎週 月曜日> 5 時限・講時 16 : 40 ~ 18 : 15				
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考				
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)				%
	レポ ー ト 試 験 (期 末)				%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	100			%
	そ の 他 ()				%
別 途 負 担 費 用	(なし) あり () 円				
その他特記事項					
<講義概要・到達目標>					
【授業の概要と方法】 21世紀は『生命科学』の世紀といわれる。これは、20世紀に急速に蓄積した“生物に対する知識”を基盤にして、21世紀には人類の健康と福祉に役立つ技術が開発され、実用化されるであろうことへの期待の表われである。この分野は人間を含む生物(生命体)を研究・実験の対象にするものであり、研究者ならびに技術者には高い倫理観が求められる。本講義は、生命科学部での導入科目として位置づけ、生命科学部の各学科における学問の形態や技術動向等について概観するとともに、研究者・技術者の役割と責任についても講義する。なお、幅広い話題を提供するために、オムニバス形式の講義とする。					
【到達目標】 生命科学研究の現場にいる人たちの研究動機およびに社会から求められる規範に触れることにより、どのように問題を理解し対処すべきか、判断するための基盤を獲得する。					
【成績評価方法】 ・科目全体としての検証テストは行わない ・レポート課題を適宜提示する ・小テストを適宜実施する ・質疑応答等、講義への積極的な参加を評価に加味する					
【授業外学習の指示】 予習: 事前に指示された参考書を読んでおくこと 復習: 講義時間中に指示された参考書を読むこと 30分を目安としてこれら予習復習を行うこと					
【受講および研究に関するアドバイス】 色々なことに興味を持つこと					

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	4月7日	石水毅:「授業の概要と導入」
2	4月14日	稲田康宏:「応用化学関連テーマ」1
3	4月21日	稲田康宏:「応用化学関連テーマ」2
4	4月28日	笠原賢洋:「生物工学関連テーマ」1
5	5月12日	笠原賢洋:「生物工学関連テーマ」2
6	5月19日	高橋卓也:「生命情報学関連テーマ」1
7	5月26日	高橋卓也:「生命情報学関連テーマ」2
8	6月2日	森脇健介:「生命医科学関連テーマ」1
9	6月9日	森脇健介:「生命医科学関連テーマ」2
10	6月16日	森脇健介:「生命科学と社会」1
11	6月23日	森脇健介:「生命科学と社会」2
12	6月30日	山末英嗣:「工学倫理および産業エコロジー」
13	7月7日	宮崎栄二:「特許」
14	7月14日	石水毅:「授業の統括」
15	月 日	
<p>＜教科書・参考書＞</p> <p>【教科書】 特に定めない。</p> <p>【参考書】 ＜1回目講義用＞ 『大学でなにを学ぶか』加藤諦三 著 (ベストセラーズ 978-4584122303) 『現代語訳 学問のすすめ』福澤諭吉 著 (筑摩書房 978-4480064707) ＜14回目講義用＞ 『植物バイオテクノロジーでめざすSDGs変わる私たちの食と薬』小泉望・加藤晃 著 (化学同人 978-4759820867) 『植物はなぜ薬を作るのか』齊藤和季 著 (文書新書 978-4166611195)</p> <p>【参考になるwwwページ】 適宜、紹介する。</p>		

科目番号	45	科目名	スポーツマネジメント概論(V)		
英文科目名	Introductory Sports Management (V)				
大学・短期大学名	立命館			大学	
連絡先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1				
	TEL :	077-561-4972		FAX :	077-561-3935
担当教員	長積 仁 (スポーツ健康科学部 教授)				
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教室名	コラーニングハウス I C204	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス		
授業期間	2025年10月2日(木)～2026年1月8日(木) <毎週木曜日> 4 時限・講時 14 : 55 ~ 16 : 30				
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考				
成績評価方法	定期試験(筆記)				%
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)	100			%
	その他()				%
別途負担費用	なし あり()円				
その他特記事項	<p><講義概要・到達目標></p> <p>【講義の概要と方法】 スポーツマネジメントとは、スポーツ組織の使命や目的を達成するために行われる人間の活動であり、同時に人々のスポーツライフの質を高め、文化としてのスポーツを振興するために人間の英知を結集させた営みのことである。本講義では、「する・みる・ささえる・つくる」といった人とスポーツのかかわりの多面性を考慮し、公共機関から営利目的の企業までを事例に上げながら、人・組織・社会とスポーツの関係をデザインするために必要な視座に対する理解を深め、それを実践の場で活かすための基礎知識を身につけることを目的とする。</p> <p>【到達目標】 ①スポーツマネジメントの基本的な考え方・基礎知識を習得することができる。 ②スポーツマネジメントが必要とされる多様な領域に対する理解と関心を深めることができる。 ③授業で培った基礎知識を、様々な状況下で適用・応用することができる。</p> <p>【授業の方法】 授業は講義が中心であるが、毎回、授業内容に関する感想・批判・意見・質問を200字程度で提出してもらう。それらの感想を用いて、授業の復習及び授業内容に対する理解を促す。</p> <p>【成績評価方法】 授業で扱った基本概念や用語の説明、授業で学んだ知識を実社会や想定した状況下において、適用・応用できるかを判断するためのレポート課題の提出を、授業内容に沿って、随時、求める。また授業内試験を実施する。課題及び試験の採点基準は、内容の正確性、文章の構成と論理性に重点を置く。ただし、成績評価の対象は、2/3以上の出席をした受講生に限る。</p> <p>【受講および研究に関するアドバイス】 まず、時間と期限と約束を守ること。次に、授業中に私語をして周りに迷惑をかけたり、携帯通信機器の使用や居眠りをして授業の雰囲気や崩れたりするような、授業に対して緊張感が保てない学生の受講は認めない。授業では、特別な予備知識は要求しないが、大学での学び方は受け身ではなく、より積極的な態度と行動が求められる。これまで培ってきた「教えてもらう」という受け身の姿勢から脱皮し、何事に対しても「自ら調べ、考え、探究する」という自発的な姿勢を身に付けてほしい。</p>				

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	10月2日	スポーツマネジメントの視座:組織の成果を意識したマネジメントの基礎知識
2	10月9日	Society 5.0時代におけるスポーツビジネスの潮流:スポーツビジネスを再定義する
3	10月16日	スポーツプロダクト:スポーツの魅力と価値とは?
4	10月23日	サービスマネジメント:サービスの特質とサービスをデザインする考え方
5	10月30日	世界を動かすスポーツマーケティング
6	11月6日	経営戦略について考える
7	11月13日	スポーツ組織のマネジメント1:組織の構造化
8	11月20日	スポーツ組織のマネジメント2:組織の“らしさ”を形づくる
9	11月27日	スポーツ政策の視座:「スポーツ権」を保障する法規と政策
10	12月4日	社会課題と向き合うスポーツ政策
11	12月11日	自助・共助・公助で育む地域スポーツクラブ
12	12月18日	運動部活動の適正化と学校・地域が連携したクラブ化の推進
13	12月25日	スポーツによる地方創生とまちづくり
14	1月8日	授業総括:確認テスト(60分)・授業の振り返り
	月日	
＜教科書・参考書＞		
【参考書】		
『スポーツマネジメント』原田宗彦・小笠原悦子 著(大修館書店 978-4-469-26669-6)		
『図とイラストで学ぶ新しいスポーツマネジメント』山下秋二・中西純司・松岡宏高 著(大修館書店 978-4-469-26804-1)		
『スポーツ産業論第7版』原田宗彦 著(杏林書院 978-4-7644-1596-6)		
『よくわかるスポーツマネジメント』柳沢和夫・清水紀宏・中西純司 著(ミネルヴァ書房 978-4623080144)		
上記の書籍は、授業内容の理解を深めるために役立つものであり、また授業内でカバーしきれない内容についての興味・関心を促すものである。		

科目番号	46	科目名	植物生理・生化学 I	
英文科目名	Plant Physiology and Biochemistry I			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連絡先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担当教員	古本 強 (農 学部 教授)			
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名		会場		
授業期間	2025 年 9 月 24 日 (水) ~ 2026 年 1 月 7 日 (水) <毎週 水曜日> 1 時限・講時 9 : 15 ~ 10 : 45			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験 (筆記)	50	%	
	レポート試験 (期末)	20	%	
	平常点 (出席・授業態度)	15	%	
	その他 小テスト	15	%	
別途負担費用	なし あり()円			
その他特記事項	<p>高校で生物学と化学を履修していない人は、講義に並行して生物学基礎の受講、高校生物、化学の自習を薦めます。</p> <p>授業の最後に、授業資料の視聴を確認するために実施するアンケートへの参加状況をもって出席とし、この評価をもって授業の2/3以上出席した者を最終評価の対象とします。</p>			
<p><講義概要・到達目標></p> <p>【講義概要】</p> <p>近年の分子生物学、細胞生物学、結晶構造学の急速な進展により、植物における多くの重要な生理生化学的現象が分子レベルで理解できるようになりました。本講義では、「生きている」ということを「(細胞の活動エネルギーとなる)ATPを生産できる」という観点から捉え、主に植物がどのようにATPを生産しているのかを中心に、細胞レベル・タンパク質レベル・分子レベルの複数のレベルで、多角度から解説します。</p> <p>最初に細胞構造を解説し、ついで、各種の代謝について基礎的な事項から解説し、後半では特に生命現象を示す分子レベルでの事象(タンパク質の構造変化と機能の相関)を中心に、代謝の制御機構に触れつつ、できるだけ平易に講述します。</p> <p>【到達目標】</p> <p>まず、全ての生命の最小単位である「細胞」を理解することを目指します。ついで、細胞機能を支える代謝や膜の機能を理解し、多くのタンパク質の機能やその調節機構を認識することで、生命現象が精緻で巧妙な分子機構に基づいていることを学びます。植物の基本機能である光合成や呼吸などの生化学的現象を分子レベルで説明できるようになることを目標とします。</p> <p>【講義方法】</p> <p>パワーポイントでの講義が中心です。必要最低限の資料はプリントアウトし、配布します。授業の振り返りをアンケートとして回収して、そのアンケートの中から理解が不足している点などを追加で説明するなど、十分に授業についてきているかをモニターしながら進めます。</p> <p>【授業外学習(自主学習(事前・事後学習を含む))の指示】</p> <p>配布プリントに必要な事項を記入し、それを復習すること。復習の助けとして、講義動画を授業期間限定で公開します。質問はmanabaの公開期間に受け付けます。</p>				

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	9月24日	ガイダンス 生理生化学とは
2	10月1日	代謝概論 各種反応論
3	10月8日	代謝研究法
4	10月15日	解糖系(1) グルコースからピルビン酸
5	10月22日	解糖系(2) ピルビン酸の行方
6	10月29日	電子伝達系と酸化的リン酸化
7	11月5日	クエン酸回路と他の代謝とのつながり
8	11月12日	代謝の調節と制御
9	11月19日	光合成(1) 光受容
10	11月26日	光合成(2) 光化学系と電子伝達
11	12月3日	光合成(3) 炭素代謝
12	12月10日	光合成(4) C4光合成とCAM型光合成
13	12月17日	物質輸送 輸送タンパク質
14	12月24日	輸送タンパク質のエネルギー収支
15	1月7日	全体のまとめと展望
＜教科書・参考書＞		
【教科書】		
高橋裕一郎、園池公毅、古本強 『光合成』（朝倉書店）3,600円（ISBN:9784254171761）		
高校での生物未履修者にも対応しますが、どうしても難易度が高くなる部分があります。高校生物の資料集や参考書を授業前に読み込んでおく予習を勧めます。オフィスアワーを利用して質問等を受け付けます。		
【参考書】		
三村徹郎、深城英弘、鶴見誠二 『植物生理学』（化学同人）3,400円（ISBN:9784759819977）		
HansWater Heldt（金井龍二 訳）『植物生化学』（Springer）8,600円（ISBN:443170857X）		
D・サダヴァ 『大学生物学の教科書 第1巻 細胞生物学』（Blue Backs）1,300円（ISBN:9784062576727）		
芦原坦・加藤美砂子 『代謝と生合成 30講』（朝倉書店）3,400円（ISBN:978425417715）		
参考資料としてプリントを配布する。		

科目番号	47	科目名	食と嗜好の科学	
英文科目名	Food Science in palatability			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連絡先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担当教員	山崎 英恵 他3名 (農 学部 教授)			
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名		会場		
授業期間	2025年9月22日(月)～2026年1月19日(月) <毎週月曜日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)	50	%	
	レポート試験(期末)		%	
	平常点(出席・授業態度)	30	%	
	その他(小テスト)	20	%	
別途負担費用	なし	あり()円		
その他特記事項	定期試験の受験には、2/3(10回)以上の出席を要する。			
<講義概要・到達目標>				
【サブタイトル】 味わいの受容と食嗜好形成について				
【講義概要】 食べ物に対する嗜好性は、食糧生産から食品開発や外食産業まで、食に関わるすべてにおいて重要な要素となっています。人々の普段の食事はもちろん、離乳食、病院食、介護を必要とする人々の食、学校給食、アスリートの食など、様々に制限のある食事の局面においても、人々の生活の質(QOL)を左右する鍵を握っています。また、食料自給率の維持・向上や食の伝統・文化の問題の根底にも、食の嗜好性が深く関わっています。本科目では、主に生理学・感覚科学の視点で、味覚・嗅覚・食感、食欲調節と満足感などの生理的側面・食の文化としての側面、食に関わる様々な情報の影響、現代社会において食の関わる諸問題と食嗜好の関係について解説します。さらに、本講義はプロの料理人かつ研究者である3人の講師により、日本料理(京料理)のフィルターを通じて人の食や嗜好に関わる多面的かつ具体的な内容の講義を展開し、食と嗜好に関する理解を更に深めていきます。				
【到達目標】 1.味覚や嗅覚、食感など感覚要因の基礎知識を習得する。 2.食品選択や嗜好性に影響を与える様々な要因を理解する。 3.食文化・伝統的な食の知識を習得する。 4.日本の外食・食品産業における実践的な知識と科学的知識の応用可能性を考察できる。				
【講義方法】 スライドを用いた講義				
【授業外学習(自主学習(事前・事後学習を含む))の指示】 授業時間中に適宜指示を行う。				
【系統的履修】 調理学、食品学、食品化学など				
【履修上の注意・担当者からの一言】 講義前半(山崎担当分)は、生理学の基礎知識があればより理解しやすいと思います。				

<授業スケジュール>		
回	月日	テーマ・キーワード
1	9月22日	感覚科学の基礎:味覚、基本五味と味を感じるしくみ キーワード:味を感じるメカニズム
2	9月29日	感覚科学の基礎:嗅覚、匂いの生理と知覚、味と匂いの相互作用 キーワード:匂いの生理、匂いを感じるメカニズム
3	10月6日	味わいを形成する要素:辛味、えぐ味、渋味、コク味 キーワード:香辛料、ココの定義
4	10月13日	日本料理とは何か:そのおいしさと嗜好性
5	10月20日	郷土食と日本料理
6	10月27日	料理の塩梅 キーワード:おいしさと好き嫌い
7	11月3日	品位とおいしさ
8	11月10日	油脂のおいしさと日本料理
9	11月17日	食感の科学 キーワード:クロスモーダル作用
10	11月24日	視覚が食品嗜好に与える影響 キーワード:クロスモーダル作用
11	12月1日	日本料理とワイン・日本酒の相性 キーワード:出汁と調味料、油の使い方
12	12月8日	おいしさの構造とその要素 嗜好性と文化的要因の関係 キーワード:嗜好形成に関わる因子とそのメカニズム
13	12月15日	嗜好と嫌悪の形成 キーワード:嗜好形成に関わる因子とそのメカニズム
14	12月22日	食品選択と食行動、食欲調節の生理
15	1月19日	おいしさと持続可能性
<教科書・参考書>		
【参考文献】		
伏木亨『おいしさを科学する』(ちくまプリマー新書 筑摩書房) 778円 (ISBN:4480687440)		
高橋拓児『10品でわかる日本料理』(日本経済新聞出版) 1,650円 (ISBN:4532168783)		